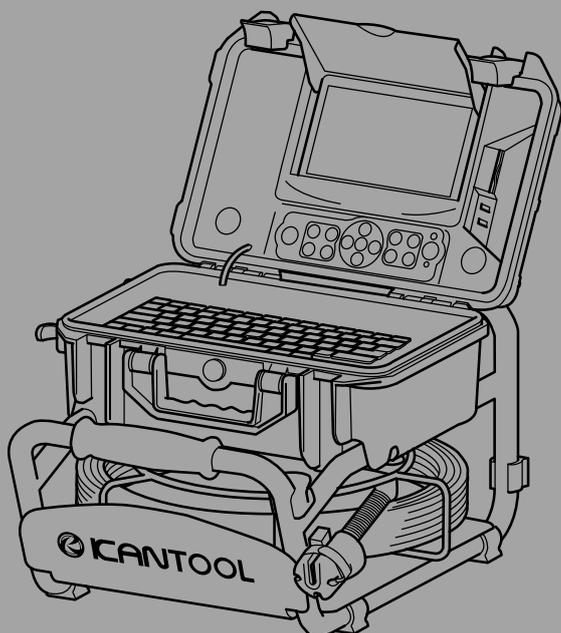


# 管内押し込みカメラ

# バリュー・ スコープ

プロ

# Pro



このたびは本製品をお買い上げいただきまことにありがとうございました。

ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき正しくご使用ください。

お読みになったあとは本書を大切に保管してください。第三者に譲渡・貸与する際にも本書を必ず一緒にお渡しください。

## カンツールショップへの 会員登録をおすすめします

ご登録いただきますと弊社のさまざまな便利なサービスを24時間どこでもご利用いただけます。

<https://www.kantool-shop.jp/shop/>

- 消耗品のご注文
- 新製品情報
- お役立ち情報

ご登録はこちら→



※ご利用の際には通信料が発生します。

QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

## もくじ

### 安全上のご注意

必ずお守りください……………	1
安全にお使いいただくために……	2

### セット内容

揃っているかご確認ください……	3
選択部品……………	4

### 使用方法

各部のなまえ……………	5
充電のしかた……………	6
電源の付けかた……………	8
画面／操作パネルの操作方法……	9
SDカードの取付けかた……………	10
写真／動画の撮りかた……………	11
スキッドの取付けかた……………	15
字幕の付けかた……………	16
映像の再生／パソコンへの保存	18
ケーブルの取替えかた……………	21
運びかた……………	24
リモコンの使いかた……………	25

### お手入れのしかた

本体の清掃のしかた……………	26
----------------	----

### お困りのとき

修理をご依頼される前に……………	27
修理と保証……………	28
製品仕様……………	29
免責事項および用途制限……………	30

# 安全上のご注意

## 必ずお守りください

ご使用になる人や他の人への危害、設備への損害を未然に防ぐためにお守りいただくことを次のように説明しています。また本文中の注意事項についてもよくお読みになり、正しくお使いください。

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたことにより生じる危害や損害の程度を以下の区分で表示しています。表示内容を守らないことにより生じた危害や損害については責任を負いかねますのでご了承ください。



### 警告

この表示欄は「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。



### 注意

この表示欄は「軽傷を負うことが想定されるか、物的損害が発生することが想定される」内容です。



「警告」や「注意」を促す内容のものです。



してはいけない「禁止」の内容のものです。



必ず実行していただく「指示」の内容のものです。



## 警告

### 異常・故障時は直ちに使用を中止する

- ・電源が付かない
- ・部品が破損している
- ・充電できない
- ・焦げ臭いにおいがする
- ・本体が発熱している
- ・異音がする
- ・その他異常がある



けがややけどのおそれがあります。  
すぐに使用を中止し、弊社まで点検・修理を依頼してください。

### 制御器

- 安定した場所に置いてください



- 付属しているもの以外の充電器で充電しない
- 本体の上に乗らない
- 強い衝撃を与えない
- ヒーターやストーブの近くで使用や保管をしない
- 火に投げ込まない

### カメラヘッド・ケーブル

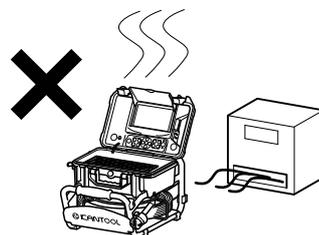
- ケーブルに折れや被覆の破れがないことを確認してから使用してください
- カメラヘッドがケーブルに確実に取付けられていることを確認してから使用してください



- ヘッドやケーブルに破損がある状態で使用しない
- 充電ケーブルは束ねた状態で使用しない

### その他

- 排水管内調査以外の目的で使用しない
- 引火性のものや火気のある場所で使用しない
- 改造しない
- 分解したり自分で修理をしない
- 輸送、保管時はフレームで吊るさず、本体を立たせるか寝かせた状態で置く  
落下して破損するおそれがあります



# 安全上のご注意

安全にお使いいただくために

安全上のご注意

## ⚠ 注意

### 制御器

- 本体は寝かせた状態で使用してください



- 水をかけない（制御器には防水機能がありません）
- 可動部やフタの指はさみに注意する
- 物を挟んだ状態でフタを閉めない
- フタが確実に閉まっていることを確認してから持ち運ぶ

### カメラヘッド・ケーブル

- 管口のフチでケーブルを傷つけないようにご注意ください
- レンズは常に清掃してください



- ヘッドに強い衝撃を与えない
- ケーブルに無理な力をかけない
- 折り曲げない
- 通電中に部品の接続を外さない

## ⚠ お願い

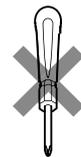
故障などを防ぐために、次のことをお守りください。  
また本文中の「お願い」事項についてもよくお読みのうえ正しくお使いください。

### リチウムイオンバッテリー



Li-ion

- リチウムイオンバッテリーのリサイクルにご協力をお願いします  
本製品にはリチウムイオンバッテリーが内蔵されています。  
この電池はリサイクル可能な貴重な資源です。  
本製品を廃棄する場合には電池の取り外しは絶対に行わず、  
裏表紙に記載している窓口にお問い合わせいただきますようお願いいたします。  
炎の中には絶対に投げ込まないでください。



分解禁止

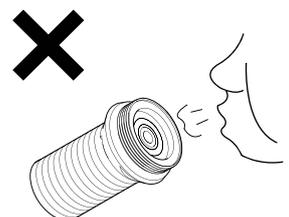
### お手入れ



- 灯油、ガソリン、シンナー、ベンジンを付着させない  
お手入れの際には本体の電源を切って充電ケーブルを必ず取り外してから、水で拭いてください。汚れがひどい場合には中性洗剤を布に染みこませて拭いてください。拭いた後は乾いた布で水滴を拭き取ってください。



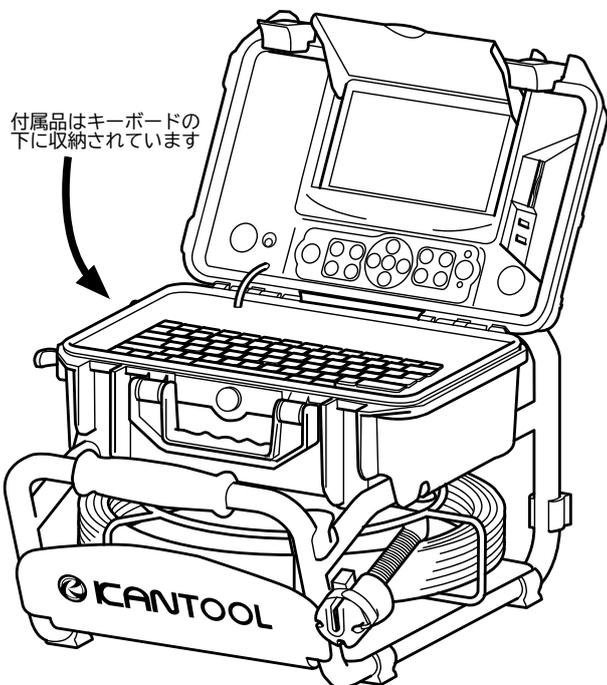
- レンズは常に清掃してください（➡12ページ）  
レンズに付着した汚水は作業が終了するたびに乾いた布で拭き取ってください。  
ケーブルの端子部には異物が付着しないようにしてください。  
また端子の接触が悪くなった場合には綿棒などで接点を拭いてください。（➡26ページ）  
端子部に息を吹きかけないでください。唾液が端子に付着すると故障の原因になります。



# セット内容

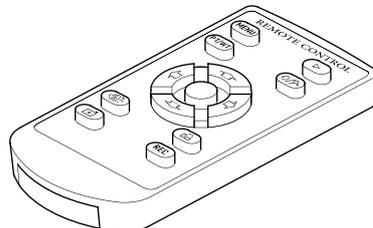
揃っているかご確認ください

## 本体



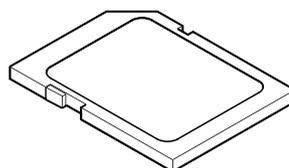
付属品はキーボードの下に収納されています

## リモコン



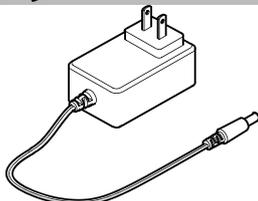
遠隔で操作するために使用します。  
→リモコンの使いかた (14 ページ) をご参照ください。

## SD カード (32GB、Class10)



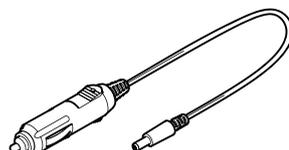
撮影した写真や映像を記録するために使用します。  
→SD カードの取付かた (10 ページ) をご参照ください。

## AC アダプター



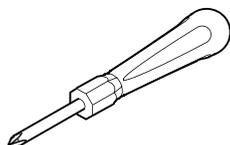
家庭用電源で本製品を充電するために使用します。  
→充電のしかた (6 ページ) をご参照ください。

## シガープラグ



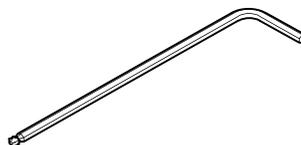
シガーソケットで本製品を充電するために使用します。  
→充電のしかた (6 ページ) をご参照ください。

## プラスドライバー



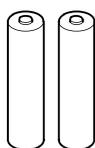
スキッドを取付けるために使用します。  
→スキッドの取付かた (15 ページ) をご参照ください。

## 六角レンチ



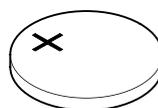
スキッドやケーブルリールを取付けるために使用します。  
→スキッドの取付かた (15 ページ) をご参照ください。  
→ケーブルの取替えかた (21 ページ) をご参照ください。

## 単 4 電池 (2 本)



キーボードの電源に使用します。  
→字幕の付けかた (16 ページ) をご参照ください。

## コイン電池 (CR2025)



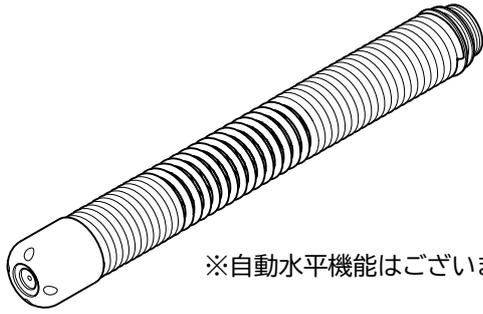
リモコンの電源に使用します。  
→リモコンの使いかた (25 ページ) をご参照ください。

# セット内容

## 選択部品

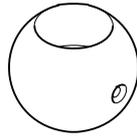
以下の部品はお買い上げいただいた仕様により付属しているものが異なります。

### 14mm ヘッド カメラヘッド



※自動水平機能はございません。

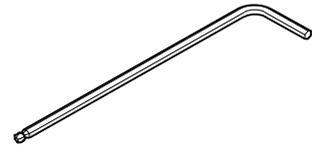
### スキッド



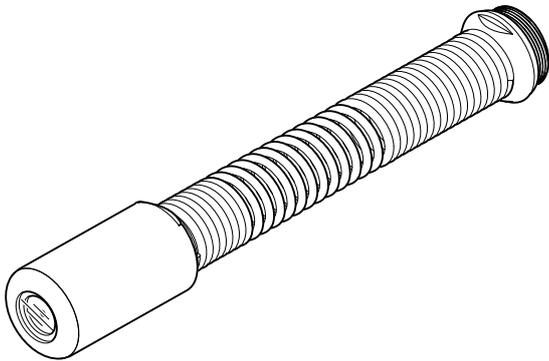
### Oリング (予備)



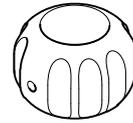
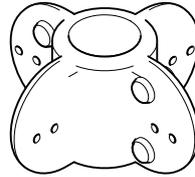
### レンチ (スキッド用)



### 23mm ヘッド カメラヘッド



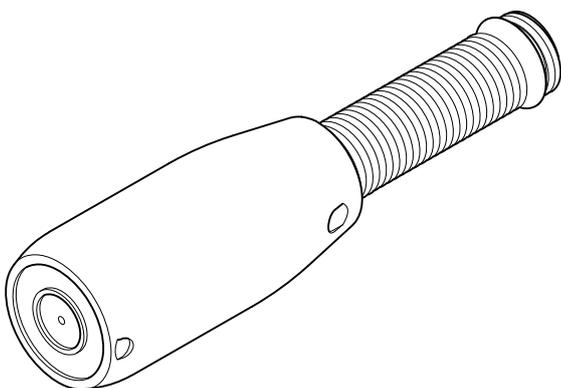
### スキッド (大) スキッド (小)



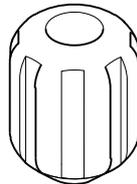
### Oリング (予備)



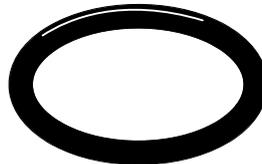
### 38mm ヘッド カメラヘッド



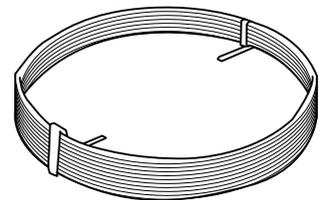
### スキッド



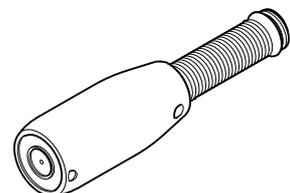
### Oリング (予備)



### ケーブル (予備)



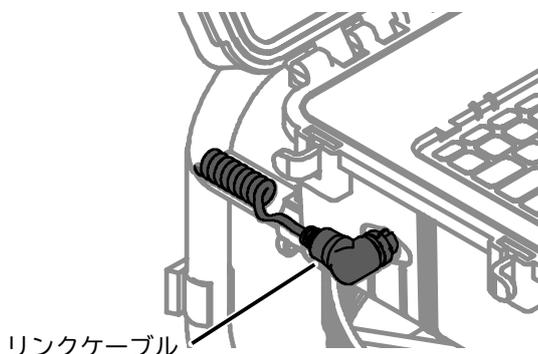
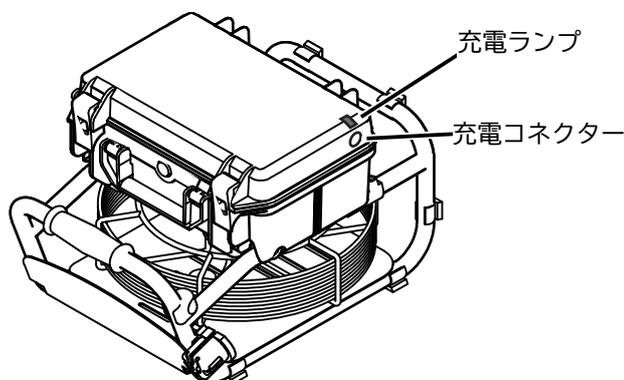
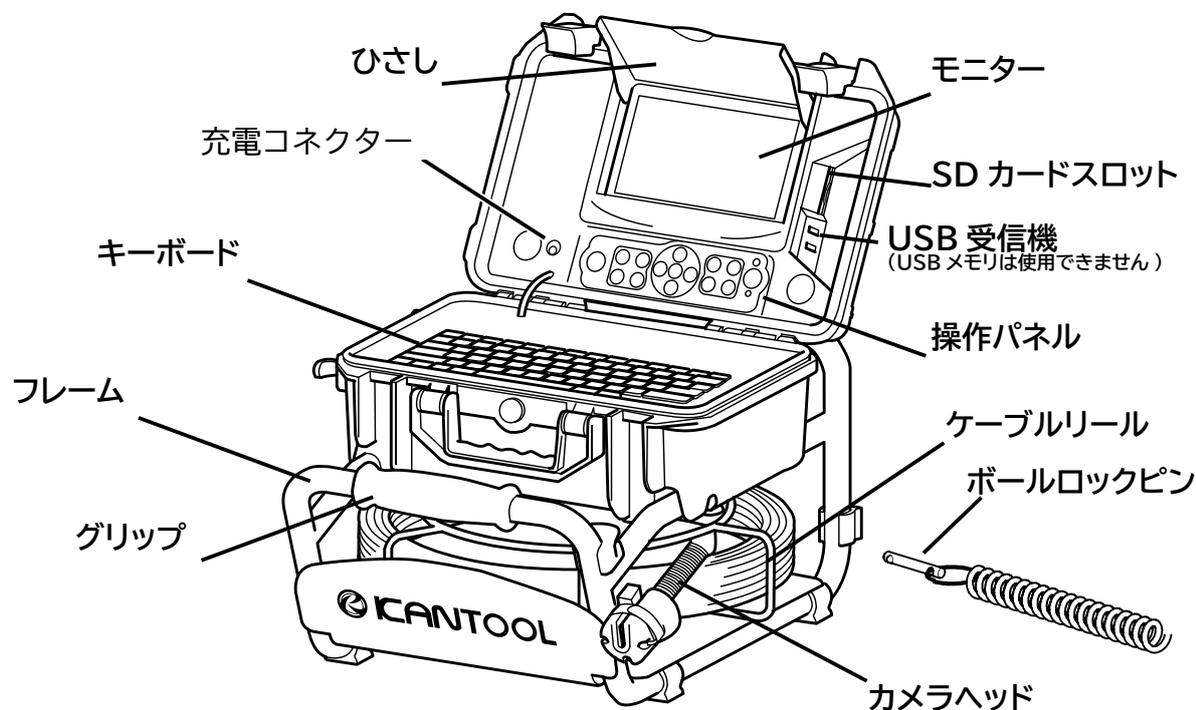
### カメラ (予備)



セ  
ツ  
ト  
内  
容

# 使用方法

## 各部のなまえ



### モニター

カメラからの映像を表示します。

### ひさし

モニターを見やすくするとともに、収納時にはモニターを保護します。

### SD カードスロット (⇒ 10 ページ)

映像を記録する SD カードを差し込みます。  
※容量は最大 64GB までに対応しています。  
※ CLASS10 のカードをご使用ください。

### 充電コネクタ (⇒ 6 ページ)

充電ケーブルを接続すると充電します。

#### コネクタキャップ

充電コネクタを保護します。充電する際には取外します。

#### 充電ランプ

充電状態を表示します。

### キーボード (⇒ 16 ページ)

映像に表示する字幕を入力します (英数字のみ)。  
工具箱のフタとなっています。付属品の収納にも使用します。

### カメラヘッド

カメラが組み込まれています。

### ケーブルリール

カメラケーブルを巻き取ります。

### グリップ

持ち運ぶ際に掴む部分です。

### 操作パネル (⇒ 9 ページ)

照明や録画などの操作を行います。

### ボールロックピン

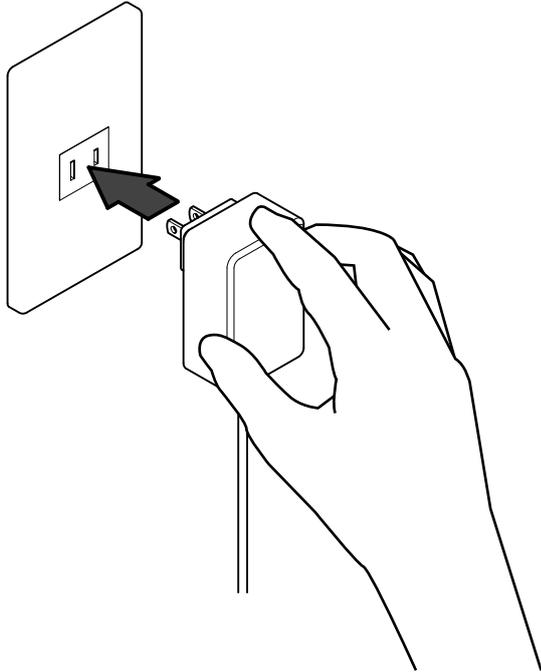
制御器を固定します。

# 使用方法

## 充電のしかた

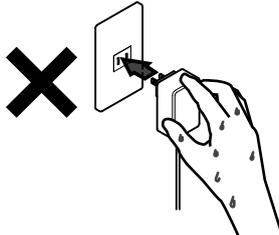
### AC アダプター（家庭用電源）での充電の場合

1. AC アダプターをプラグに差し込む  
AC アダプターをプラグに差し込みます。



**警告**

- 濡れた手で AC アダプターを触れない  
濡れた手で AC アダプターに触れると感電するおそれがあります。

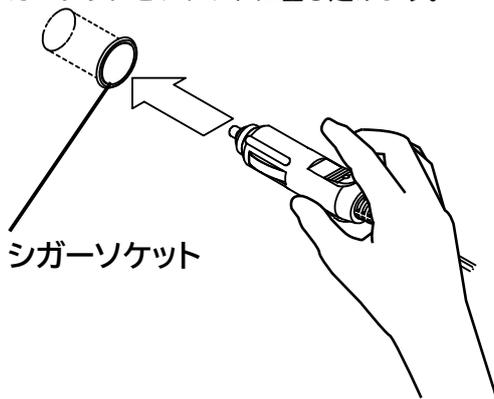


- AC アダプターは付属のものを使用する  
付属している以外の AC アダプターを使用しないでください。火災のおそれがあります。
- 単相 100V(50Hz・60Hz) 以外で使用しない  
火災のおそれがあります。

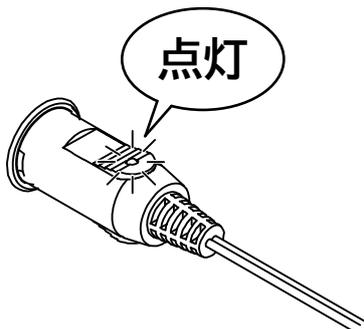
使用  
方法

### シガーソケット（DC12V）での充電の場合

1. シガープラグをソケットに差し込む  
①シガープラグをソケットに差し込みます。

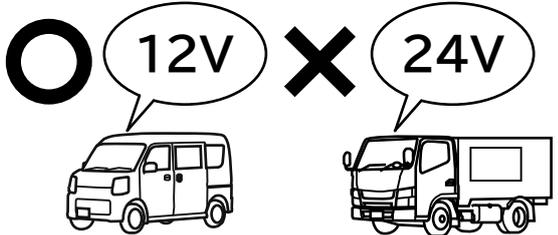


②シガープラグのランプが点灯することを確認します。



**警告**

- 12Vのシガーソケットを使用する  
12Vのシガーソケットでご使用ください。24Vのシガーソケットに接続すると火災のおそれがあります。



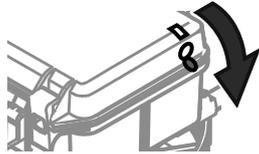
- 濡れた手で触らない  
濡れた手でシガープラグを触らないでください。感電するおそれがあります。

# 使用方法

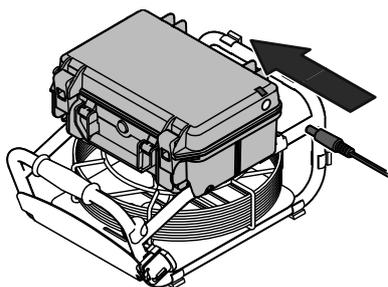
## 充電のしかた（続き）

### 2. DC プラグを差し込む

①コネクターキャップを取外します。



② DC プラグに差し込みます。



### 3. 充電ランプが点灯することを確認する

本体の充電ランプが点灯することを確認します。  
点灯パターンは以下の通りです。



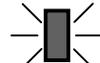
消灯  
充電していないとき



赤く点灯  
充電中



緑に点灯  
充電完了

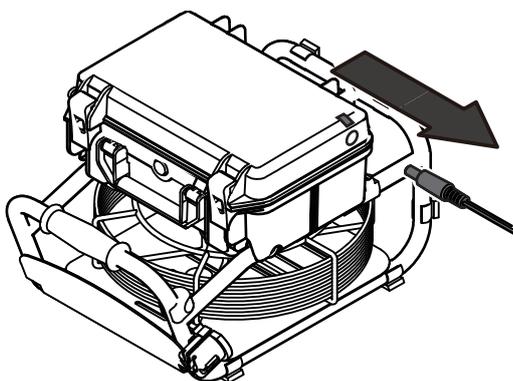


赤く点滅  
プリチャージ中（後述）

## 充電が完了したら

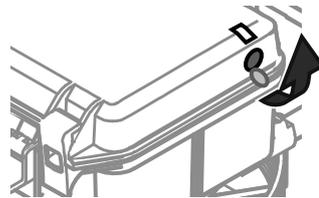
### 1. プラグを抜く

接続した全てのプラグを抜きます。



### 2. コネクターキャップを閉める

コネクターキャップを閉めます。



## 充電時間について

本体の電源が OFF のとき、約 8 時間で充電できます。バッテリーの使用状況や残量によって充電時間は変わります。本体を起動した状態で充電をすると、充電時間は著しく長くなります。

-5 ~ 48℃の場所で充電してください。周囲の温度が高すぎたり低すぎたりすると、バッテリーの劣化が早まったり充電できなかったりする場合があります。

充放電を繰り返すとバッテリーは劣化します。充電できなくなった場合は弊社までお問い合わせください。

半年に一度は必ず充電してください。リチウムイオン電池は特性上、使用していない状態でも電池の残量は減っていきます。長期間使用しないと過放電の状態になり、AC アダプターを接続しても充電できなくなることがあります。

## プリチャージ機能について

長期間充電をせずに過放電されていると、充電を開始しても「プリチャージ機能」が作動して直ちに電源を付けることができません。プリチャージ中は充電ランプが赤く点滅します。充電を続けるとプリチャージ機能は解除され通常通りに起動することができるようになります。



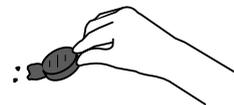
### 警告

●ケーブルは束ねた状態で使用しない  
ケーブルを束ねて通電させると過熱して、火災の原因になります。



●2か所の充電コネクターを同時に使用しない  
火災や故障のおそれがあります。

●コネクターキャップを強く引っばらない  
コネクターキャップが破損するおそれがあります。

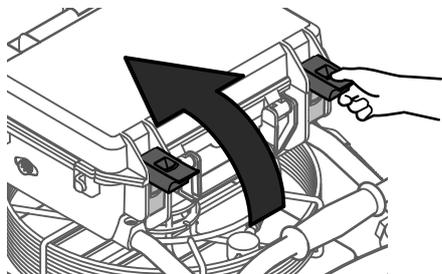


# 使用方法

## 電源の付けかた

### 1. 制御器のフタを開ける

①ロックをつまんで左右のつまみを引き上げます。

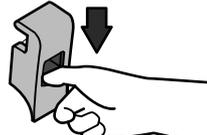


**!** 注意

●つまみはロックを完全に外して引き上げる  
ロックを外さずにつまみを外すとつまみが破損  
するおそれがあります。

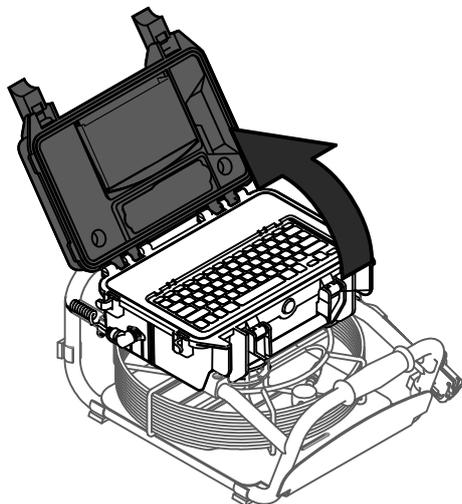


ロック機構

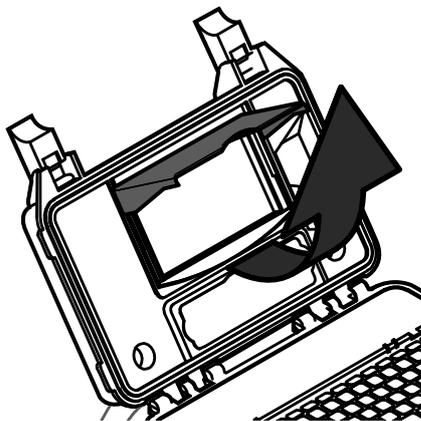


強くつまむ

②モニターを起こします。



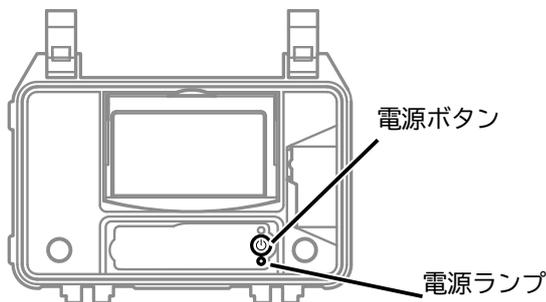
③ヒサシを開けます。



使用  
方法

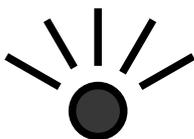
### 2. 電源ボタンを押す

本体の電源ボタンを押します。起動するとボタンの下のランプが点灯します。  
点灯パターンは以下の通りです。



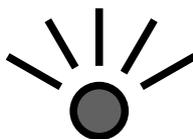
消灯

電源 OFF



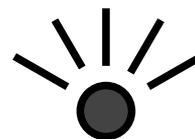
青色に点灯

電源 ON



赤色に点灯

充電中 (電源 OFF)



紫色に点灯

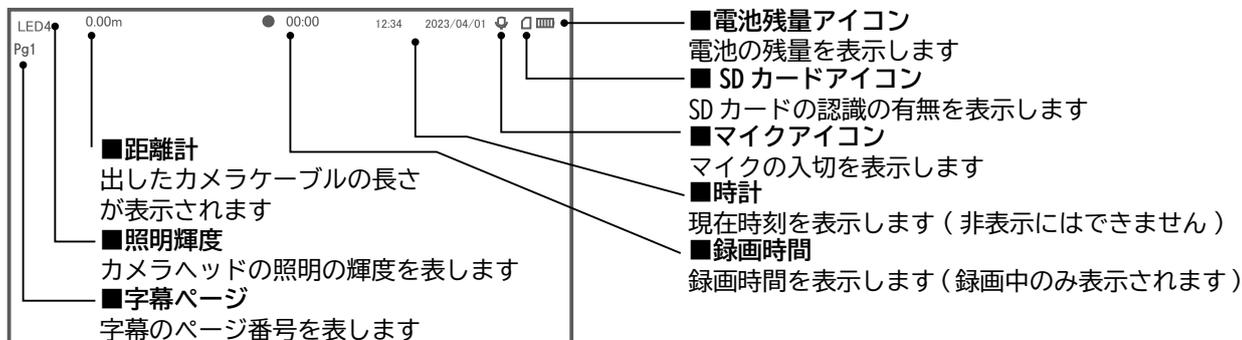
充電中 (電源 ON)

# 使用方法

## 画面／操作パネルの操作方法

### 画面の表示について

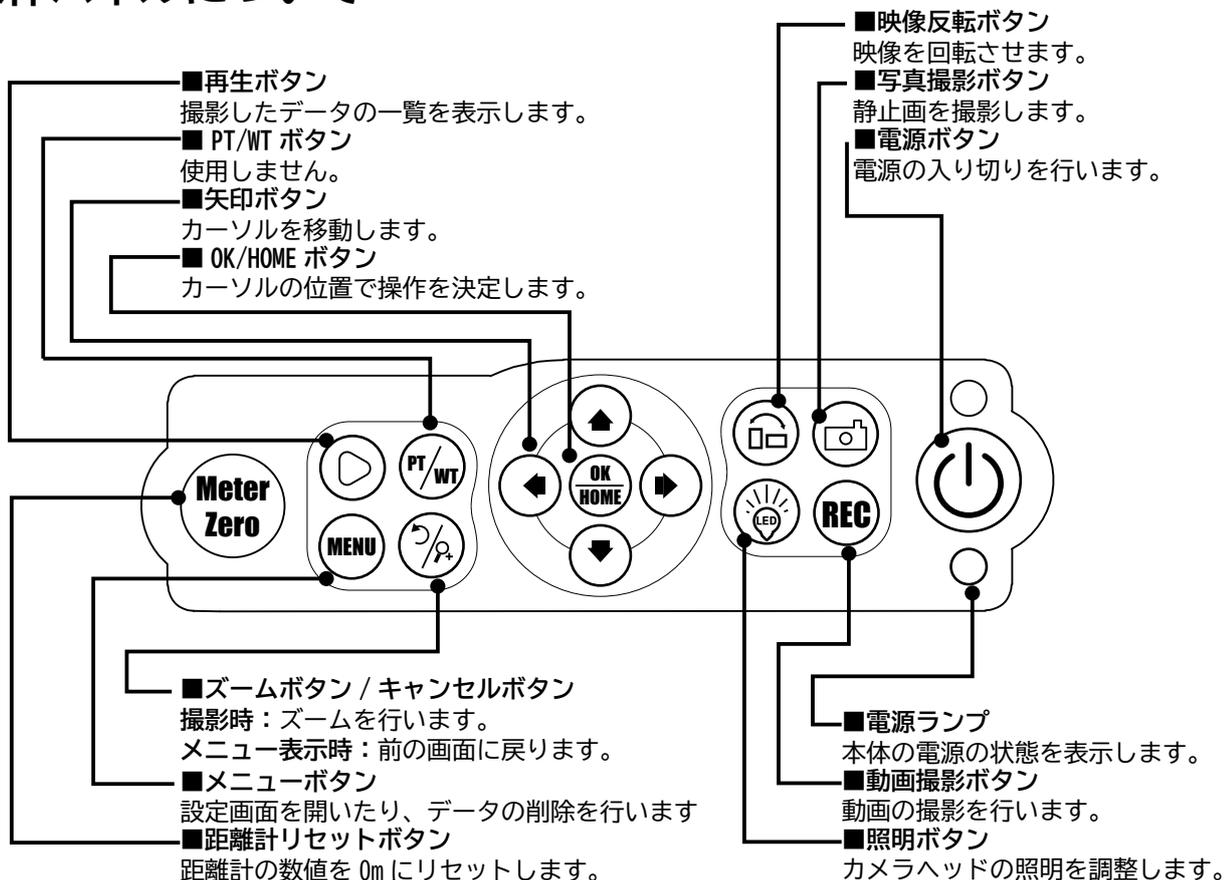
電源を付けると画面が以下のように表示されます。



### 電池残量アイコンについて



### 操作パネルについて



# 使用方法

## SD カードの取付けかた

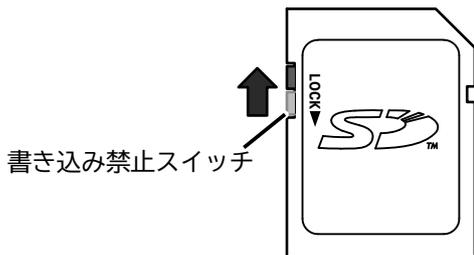
### 対応するメモリーカード

本機は SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、SDXC メモリーカード（最大 64GB）に対応しています。スピードクラスが CLASS10 のメモリーカードをご使用ください。

### SD カードの取付けかた

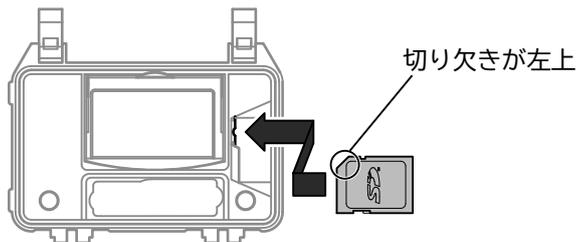
#### 1. 書き込み禁止スイッチを解除する

SD カードの書き込み禁止スイッチを解除します。



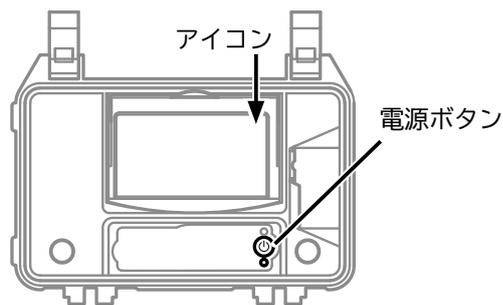
#### 2. 制御器に SD カードを取付ける

制御器に SD カードを差込みます。「カチッ」という音がするまで SD カードを押し込みます。



#### 3. 電源ボタンを押す

電源ボタンを押して本体を起動します。起動後、画面右上のアイコンを確認します。



認識エラー



認識

### 撮影したデータの取扱いについて

本製品や SD カードに対して、静電気や電氣的ノイズを受けるとデータが破損したり消失することがあります。撮影データが再生できなくなったことによって生じた損害の責任を当社は一切負いかねます。

### 著作権について

カメラで撮影した著作物は、個人で使用する目的以外では権利者に無断で使用できません。

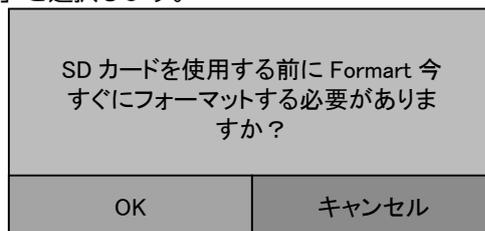
### 肖像権について

本人の許諾を得ずに人物を撮影すると肖像権の侵害になるおそれがあります。プライバシーには十分にご配慮ください。

#### 4. フォーマットを行う（初めて使用する場合）

フォーマットを行う必要がある SD カードを差込むと、以下のメッセージが表示されます。

「OK」を選択します。



フォーマットには数分間要します。フォーマットが完了すると以下のメッセージが表示されます。メッセージは自動的に消えます。



### ！ お願い

- SD カードの抜き差しは電源を切った状態で行う  
本体や SD カードが故障するおそれがあります。
- 撮影の前に必ずフォーマットを行う  
撮影したデータを正しく保存できないおそれがあります。
- フォーマットする前にバックアップを行う  
フォーマットを行うと SD カードに記録されているデータが全て消去されます。データの復元はできません。
- SD カードの端子部に触れない  
SD カードの端子部に触れると静電気などにより内部に記録されているデータが破損したり消失することがあります。

SD、SDHC および SDXC は SD-3C、LLC の登録商標です。

# 使用方法

## 写真／動画の撮りかた

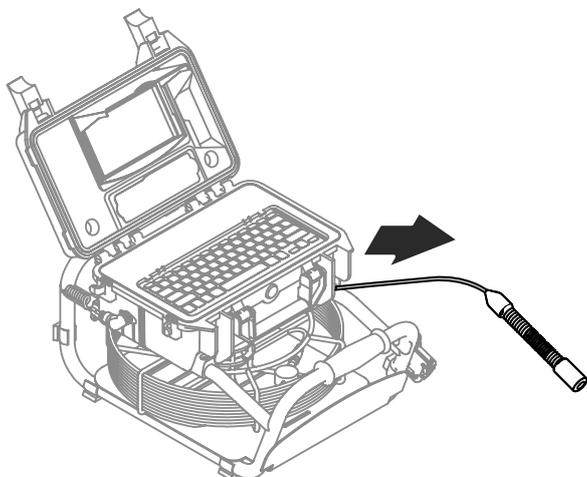
### ！ お願い

●映像を記録するにはSDカードが挿入されていることを確認する  
SDカードが挿入されていない状態では映像を記録することができません。SDカードを挿入してから撮影を開始してください（SDカードの取付けかたの詳細は10ページをご覧ください）。

### カメラの挿入のしかた

#### 1. カメラケーブルをリールから引き出す

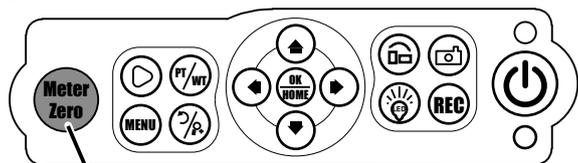
本体からカメラヘッドを取出し、ケーブルを引出します。



#### 2. カメラヘッドを管内に入れる

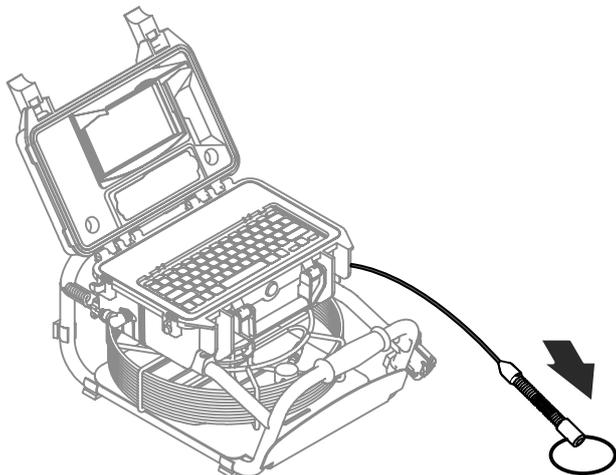
距離計をリセットし、カメラヘッドを管内に入れます。

##### ①距離計のリセット



距離計リセットボタンを押す

##### ②カメラを管内に入れる



#### 3. ケーブルを押し込む

片手でケーブルをリールから引出しながら、もう一方の手でケーブルを軽い力で押し込みます。



##### 曲がりを入れるとき

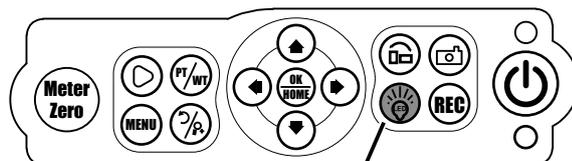
曲がりを通過するとき、カメラヘッドが引っかかってケーブルが押し込めなくなります。一旦ケーブルを10cm程度引出し、勢いを付けてケーブルを押し込むと曲がりを通過できます。

### ！ 注意

- ケーブルに強い力をかけない  
衝撃でケーブルやカメラヘッドが破損するおそれがあります。
- カメラヘッドを無理に入れない  
カメラヘッドが管内から抜けなくなることがあります。
- カメラヘッドを管内の異物除去に使わない  
カメラヘッドやケーブルが破損するおそれがあります。

#### 4. 照明を調節する

画面を見ながら照明ボタンを押し、明るさを調節します。照明はボタンを繰返し押すことで4段階で調整できます。



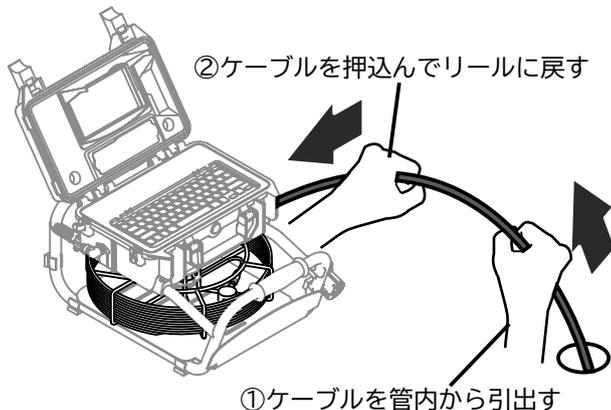
照明ボタン

# 使用方法

## 写真／動画の撮りかた（続き）

### カメラヘッドの取出しかた

1. カメラケーブルを管内から引き出す  
本体からカメラヘッドを取出し、ケーブルを引出します。



●カメラヘッドが抜けないとき

①カメラケーブルを5cm程度押込む  
カメラケーブルを押込み、カメラヘッドを引っかかっている場所から奥へ押し戻します。

②勢いよくカメラケーブルを引っばる  
カメラケーブルを勢いをつけて引っばります。

#### ⚠ 注意

●カメラケーブルをケーブルリールに戻すときは  
本体が動かないように注意する

カメラケーブルをケーブルリールに押し戻す際に、本体が動くことがあります。本体が落ちたり周囲にぶついたりしないように注意してください。

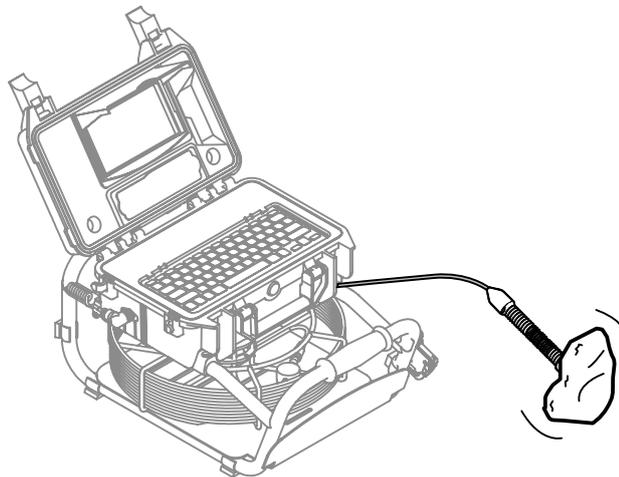
●カメラケーブルをケーブルリールに戻す際には  
リールが回転することを確認する

ケーブルリールにリンクケーブルなどが絡まるとケーブルリールが回転できなくなります。その状態でカメラケーブルを押込むとリンクケーブルが破損するおそれがあります。ケーブルリールが回転しなくなった場合には、ケーブルなどが絡まっていないか確認してください。

●カメラケーブルを管の外へ引っばり出すときは  
周囲を確認する

ケーブルリールに他の人が足を引っかけたりするとけがをさせるおそれがあります。

2. カメラヘッドを拭く  
カメラヘッド先端のレンズを柔らかい布で拭きます。



#### ⚠ 注意

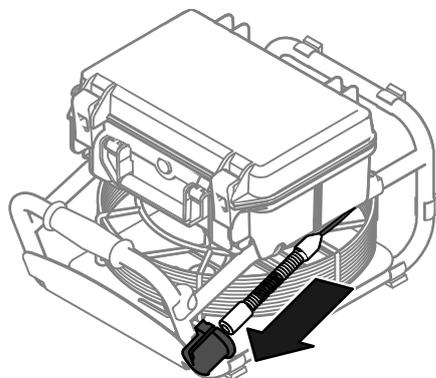
●硬いものでレンズを拭かない

たわしなどの硬いものでこするとレンズに傷がつき、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。タオルなどの柔らかい布で拭いてください。

●こまめにレンズを拭く

汚れが付着した状態でレンズを放置すると、固着して取除くことができなくなるおそれがあります。使用後は必ずレンズを清掃して汚れを取除いてください。

3. カメラヘッドを収納する  
フレームのカメラヘッドホルダーにカメラヘッドを収納します。



# 使用方法

## 写真／動画の撮りかた（続き）

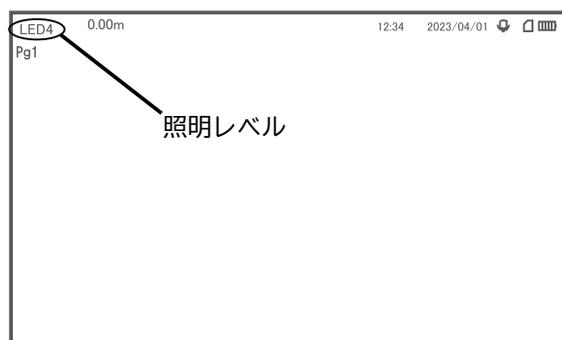
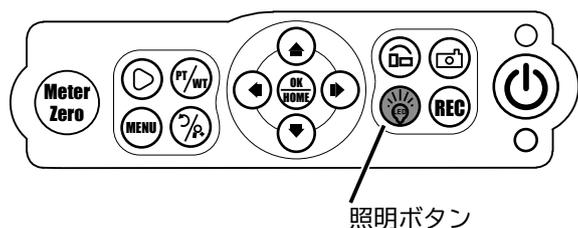
### 写真（静止画）の撮りかた

#### 1. 被写体とカメラヘッドとの距離を調整する

画面を見ながらカメラケーブルを押したり引いたりして、被写体の大きさを調節します。

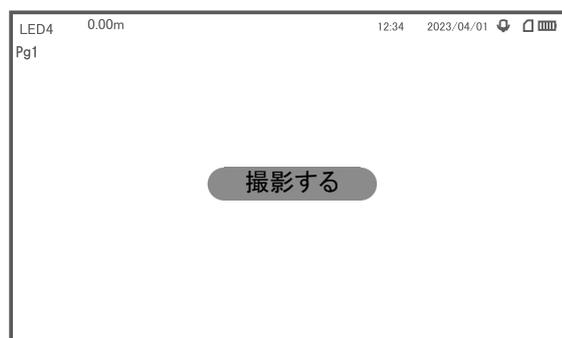
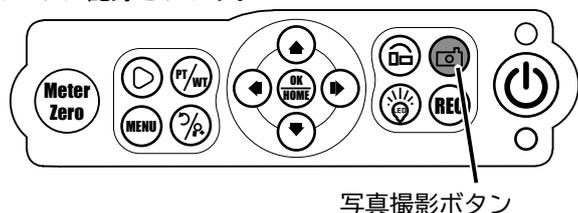
#### 2. 明るさを調整する

画面を見ながら照明ボタンを押して、映像の明るさを調整します。明るさは照明ボタンを繰り返し押すことで4段階で変えることができます。照明のレベルは画面左上に「LED0～LED4」で表示されます。



#### 3. 写真を撮影する

写真撮影ボタンを1回押すと写真が撮影されます。画面に「撮影する」というメッセージが表示されると写真がSDカードに記録されます。



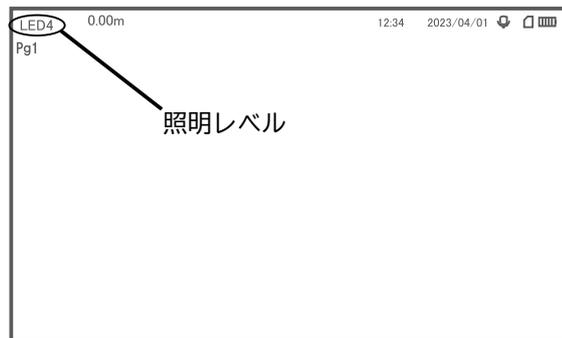
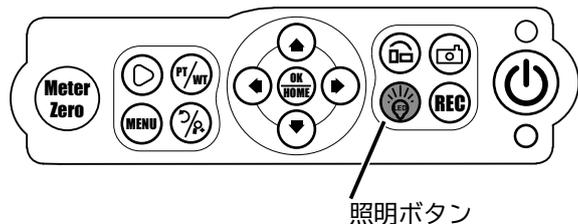
# 使用方法

## 写真／動画の撮りかた（続き）

### 動画の撮りかた

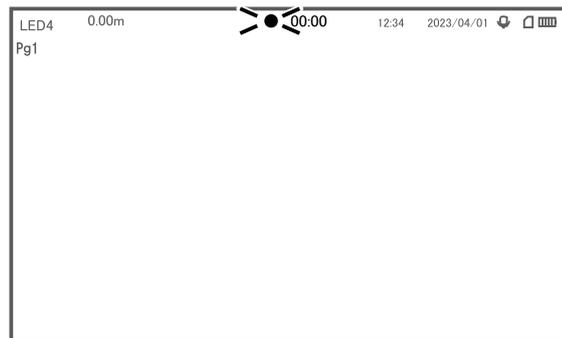
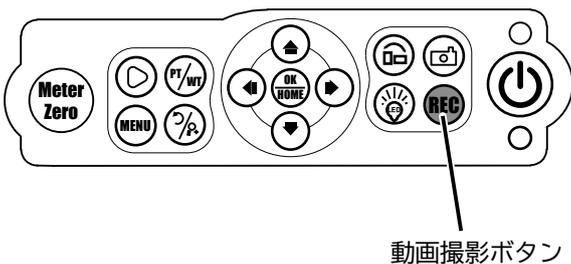
#### 1. 明るさを調整する

画面を見ながら照明ボタンを押して、映像の明るさを調整します。明るさは照明ボタンを繰り返し押すことで4段階で変えることができます。照明のレベルは画面左上に「LED0～LED4」で表示されます。



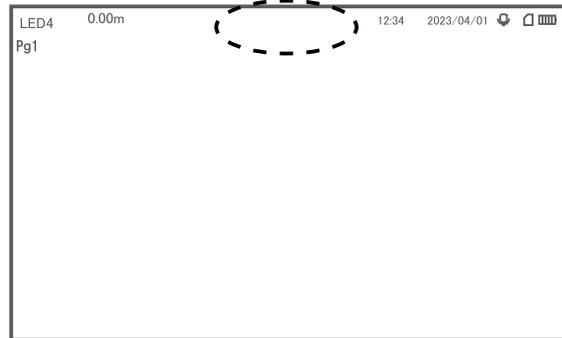
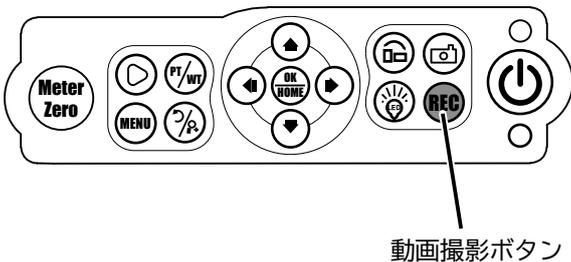
#### 2. 動画の撮影を開始する

動画撮影ボタンを1回押すと動画の撮影が開始されます。撮影中は画面上部に撮影時間のカウントが表示され、赤丸が点滅します。



#### 3. 動画の撮影を終了する

動画撮影ボタンをもう1度押すと動画の撮影を終了します。画面上部の撮影時間のカウントが消えると動画が記録されます。



### ！ お願い

●動画撮影中はSDカードを抜き差ししたり、電源を切ったりしない  
動画を撮影している間にSDカードを抜いたり本体の電源を切ったりすると、動画ファイルが破損します。必ず動画の撮影を止めてから電源を切ってください。

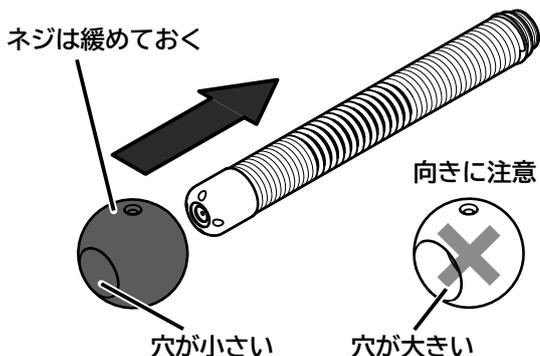
# 使用方法

## スキッドの取付けかた

スキッドを取付けると、より大きな管でも鮮明な画像を撮影することができます。

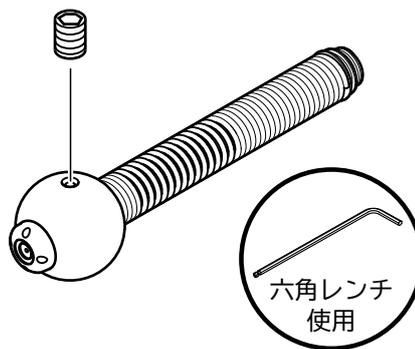
### 14mm ヘッド用スキッド

1. カメラヘッドにスキッドを差込む  
カメラヘッドにスキッドを差込みます。



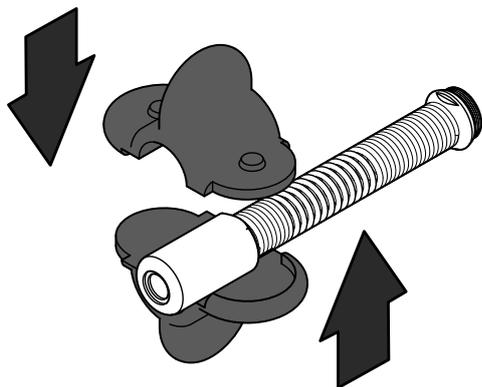
2. イモネジを締める

六角レンチでイモネジを締めてスキッドを固定します。



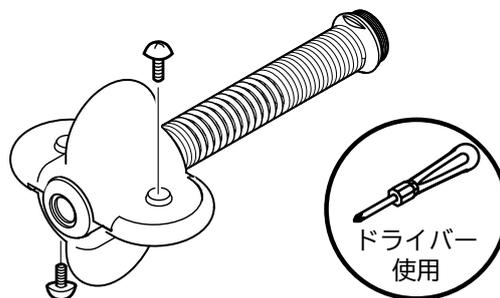
### 23mm ヘッド用スキッド

1. スキッドにカメラヘッドを挟みこむ  
カメラヘッドに両側からスキッドを挟みこみます。



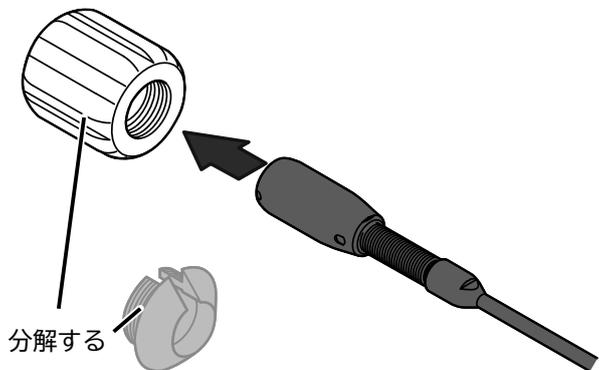
2. ネジを締める

プラスドライバーで2か所ネジを締めてスキッドを固定します。



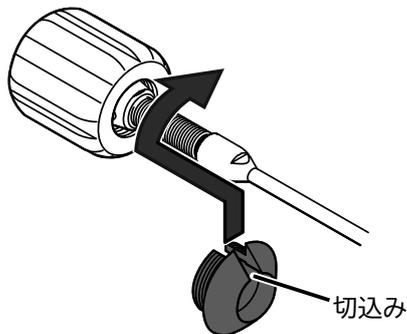
### 38mm ヘッド用スキッド

1. スキッドにカメラヘッドを差込む  
スキッドをねじって分解し、大きいほうの部品にカメラを奥まで差込みます。



2. ネジを締める

小さいほうの部品の切込みにカメラケーブルを通して、もう一方の部品にねじって固定します。



# 使用方法

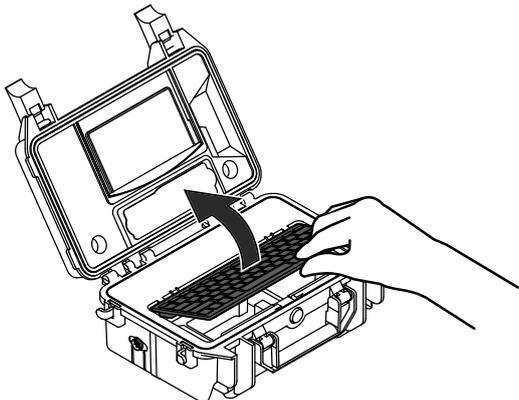
## 字幕の付けかた

キーボードを使用して、撮影中の映像にリアルタイムで字幕を表示することができます（英数字のみ）。

### 準備

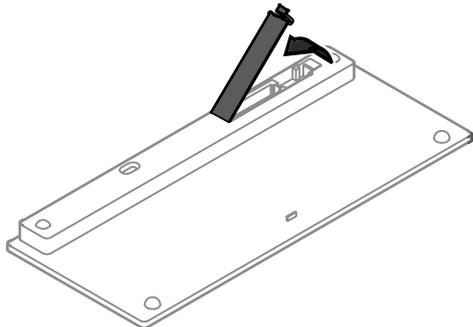
#### 1. キーボードを取外す

制御器からキーボードを取外します。



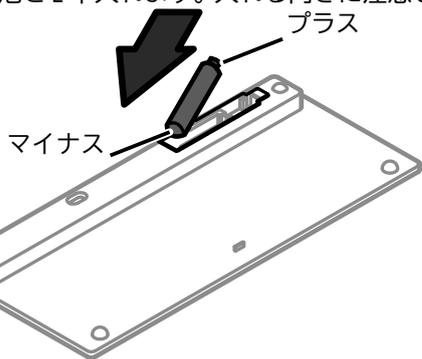
#### 2. フタを外す

キーボード裏のフタを取外します。

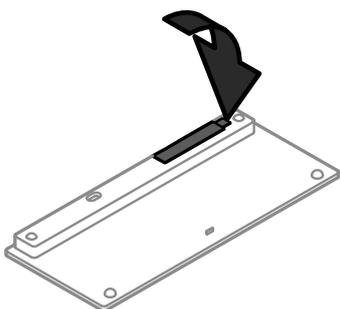


#### 3. 電池を入れる

①単4乾電池を2本入れます。入れる向きに注意します。

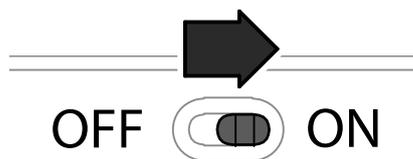


②フタを閉めます。



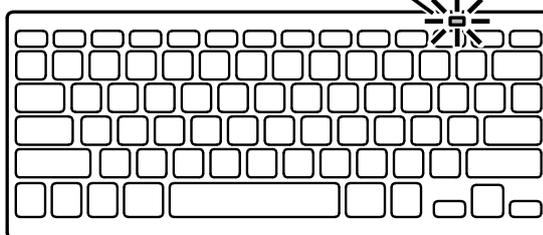
#### 4. 電源を入れる

①電源スイッチを「ON」にします。



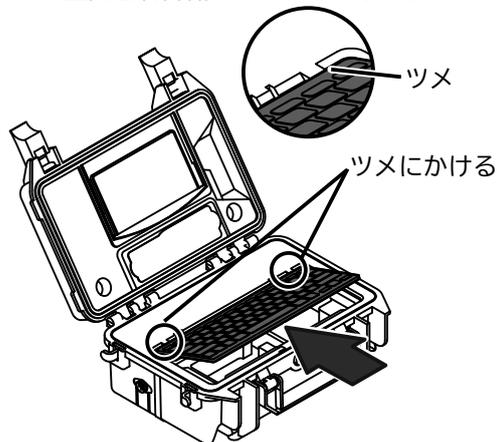
②キーボード上面のランプが点灯することを確認します。ランプは電源を入れた直後の1秒間だけ赤く点灯します。

1秒間赤く点灯します

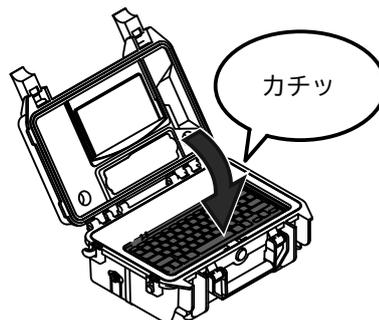


#### 5. キーボードを制御器に取付ける

①キーボードの上側を制御器のツメにかけます。



②キーボードの下側を「カチッ」という音が鳴るまで押さえます。



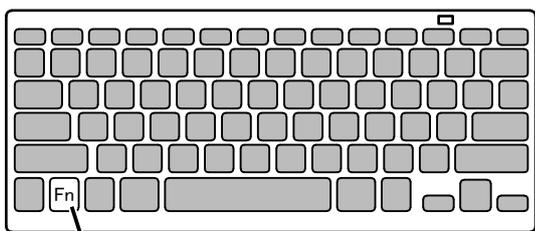
# 使用方法

## 字幕の付けかた（続き）

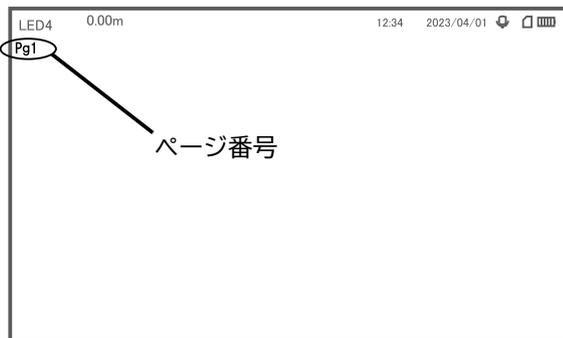
### 字幕の入力

#### 1. 何かのキーを押す

「Fn」キーを除くキーボードのいずれかのキーを入力すると、画面の左上に「Pg1」が表示されます。これはページ番号を示します。



「Fn」以外のキーを押します

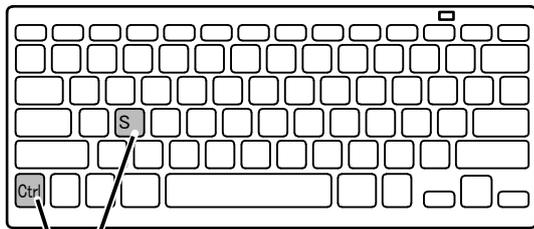


#### 2. 文字を入力する

キーを押すと文字が入力されます。英数字記号のみ入力できます。日本語の入力はできません。字幕を非表示にするには「Esc」キーを押します。

### 字幕の保存

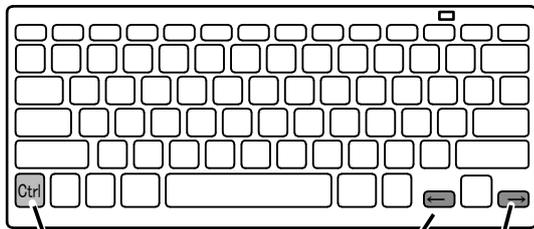
字幕を保存すると、電源を切ったり字幕ページ切替えをしても再表示することができます。Ctrl+S で保存します。



「Ctrl」と「S」キーを同時に押します

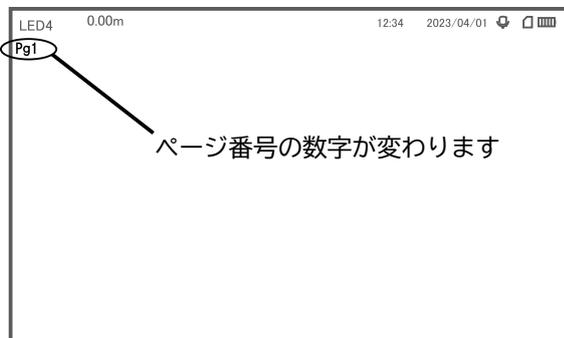
### 字幕ページの切替え

字幕ページ切替えをすると、保存した字幕をすぐに表示させることができます。字幕は Pg1 ~ Pg9 の9 ページにそれぞれ記録できます。



「Ctrl」と左キーまたは右キーを同時に押します

ページ戻し  
ページ送り



# 使用方法

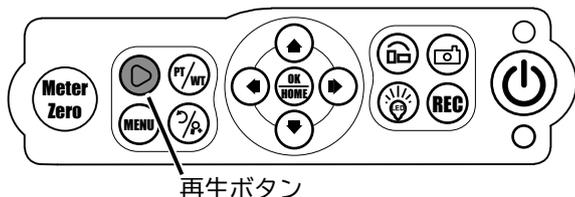
## 映像の再生／パソコンへの保存

### 映像の再生

撮影した映像をその場で再生することができます。

#### 1. 再生ボタンを押す

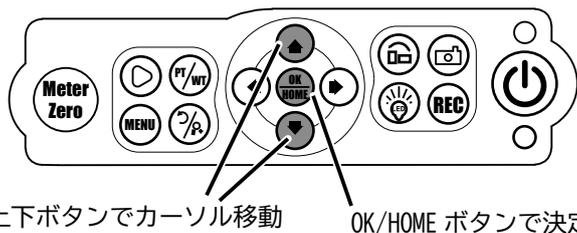
再生ボタンを押すと、撮影したデータの一覧が表示されます。



ローカルアルバム	
F	20230401_123456F.jpg
F	20230401_123456F.mp4

#### 2. 再生したいファイルを選択する

データの一覧から、再生したいファイルを選択します。上下ボタンでカーソルを移動し、OK/HOME ボタンでファイルを選択します。なおファイル名の末尾は写真は「.jpg」、動画は「.mp4」として表示されます。



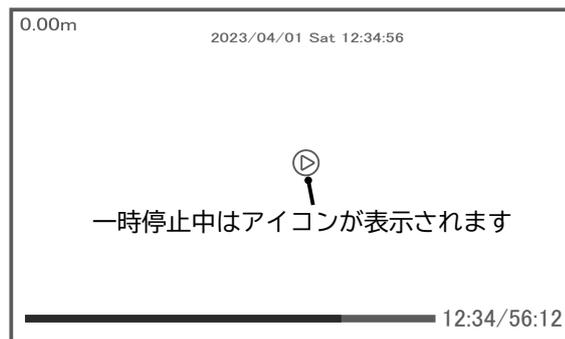
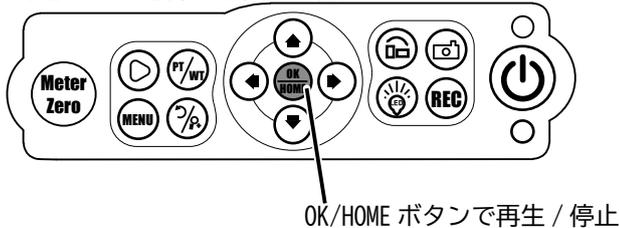
■写真データの場合  
20230401\_123456F.jpg

■動画データの場合  
20230401\_123456F.mp4

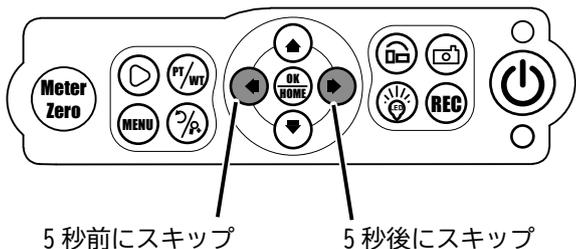
撮影日      撮影時間

#### 3. 動画の一時停止／再生、スキップ

動画は表示すると自動的に再生を開始します。一時停止する場合には OK/HOME ボタンを押します。もう一度 OK/HOME ボタンを押すと再生が再開されます。



動画再生中に左右ボタンを押すとそれぞれ前後に5秒ずつスキップします。



# 使用方法

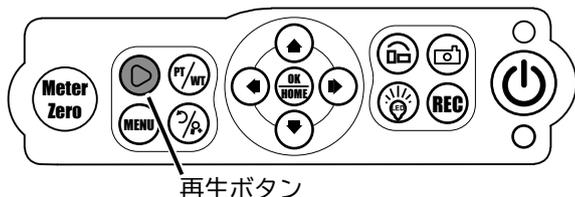
## 映像の再生／パソコンへの保存

### 映像の削除

不要な映像はその場で削除することができます。

#### 1. 再生ボタンを押す

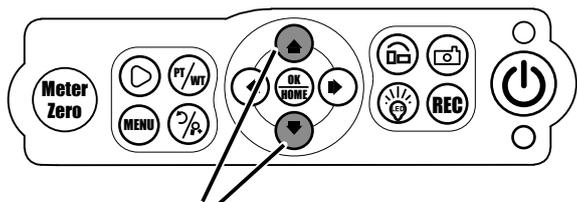
再生ボタンを押すと、撮影したデータの一覧が表示されます。



ローカルアルバム	
F	20230401_123456F.jpg
F	20230401_123456F.mp4

#### 2. 削除したいファイルを選択する

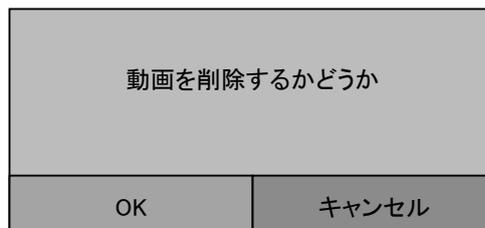
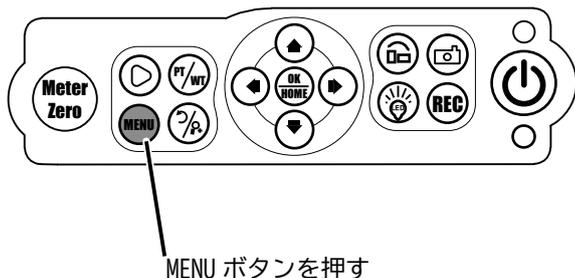
データの一覧から、削除したいファイルを選択します。上下ボタンでカーソルを移動します。



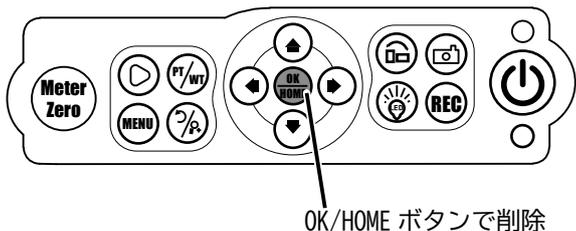
上下ボタンでカーソル移動

#### 3. 削除する

削除したいファイルにカーソルを合わせるか、映像を再生した状態で MENU ボタンを押します。



OK/HOME ボタンを押すとファイルが削除されます。



OK/HOME ボタンで削除

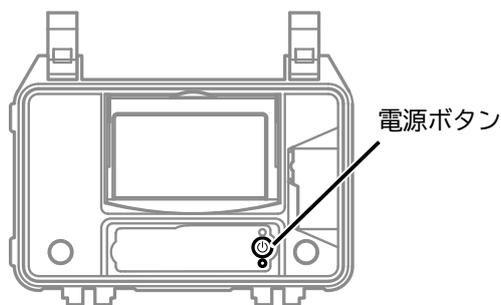
# 使用方法

## 映像の再生／パソコンへの保存

### パソコンへの撮影データの転送 (Windows の場合)

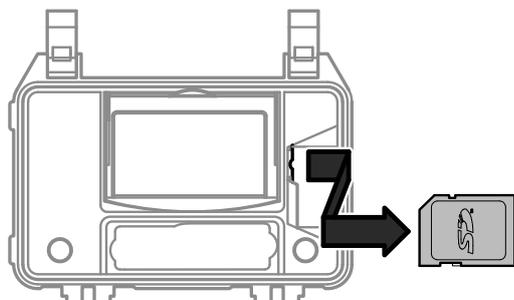
#### 1. 本体の電源を切る

電源ボタンを押し、本体の電源を切る。



#### 2. SD カードを取出す

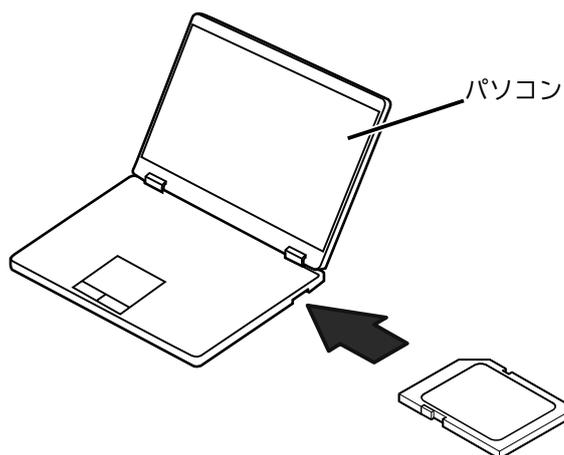
SD カードを本体から取出す。



#### 3. SD カードをパソコンに差し込む

SD カードをお手持ちのパソコンに差し込む。

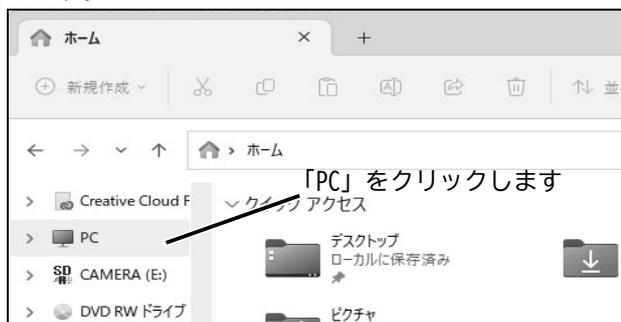
※パソコンのくわしい操作方法は、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。



#### 4. 映像が保存されているフォルダを開く

##### ① 「PC」フォルダを開く

エクスプローラを起動し、左の一覧から「PC」をクリックします。



##### ② SD カードを開く

SD カードがパソコンに正常に認識されていると、SD カード (初期設定では「CAMERA」) が表示されます。

SD カードをクリックして開きます。



##### ③ SD カード内部のフォルダを開く

本製品を使用すると SD カード内部に「event」、「photo」および「video」の3つのフォルダが作成されます。

静止画は「photo」フォルダに、動画は「video」フォルダにそれぞれ保存されます。

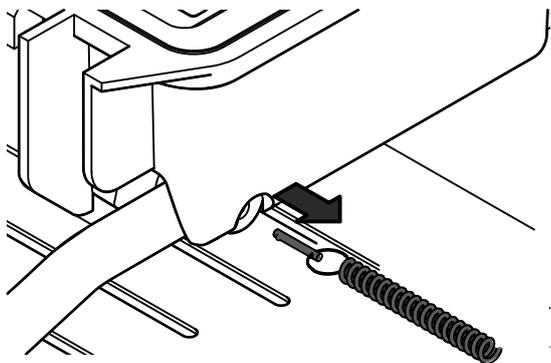
# 使用方法

## ケーブルの取替えかた

### ケーブルの取外しかた

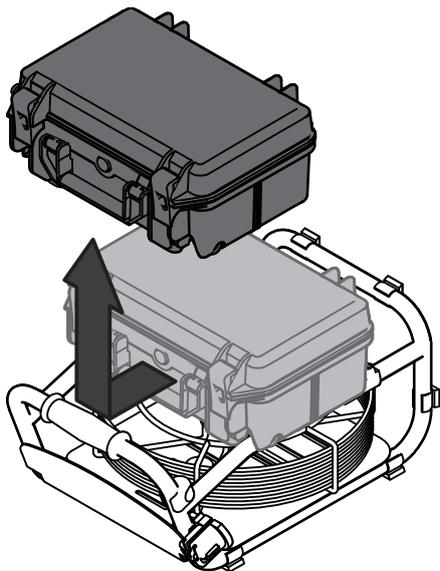
#### 1. ボールロックピンを外す

ボールロックピンを引抜きます。



#### 2. 制御器を外す

制御器をスライドさせて取外します。

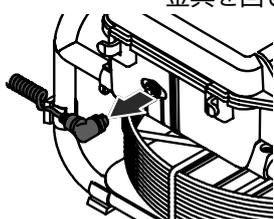


#### 3. リンクケーブルを外す

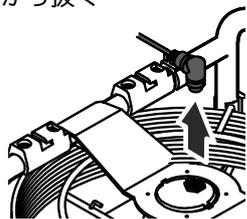
コネクタの固定を外して、リンクケーブルを外します。



金具を回してから抜く



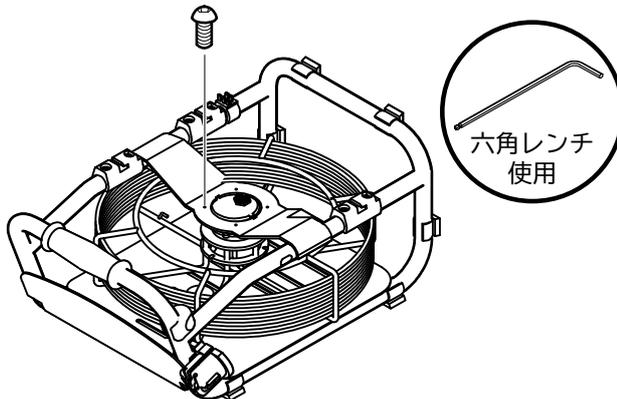
①制御器の左側面



②フレームの上部

#### 4. ネジを外す

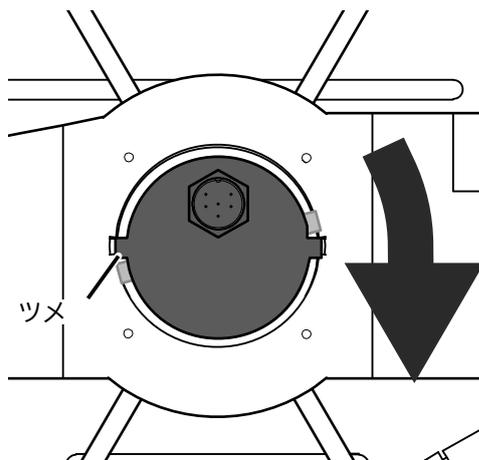
リールを固定しているネジを4か所取外します。



六角レンチ  
使用

#### 5. ケーブルリールの止め具を外す

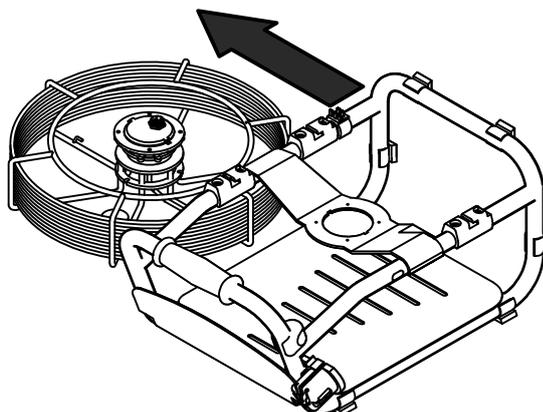
リールの軸を回してツメを外します。



ツメ

#### 6. ケーブルリールをスライドさせる

リールをフレームのすき間を通して取出します。



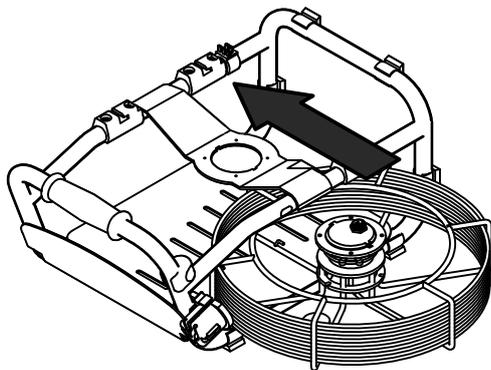
# 使用方法

## ケーブルの取替えかた（続き）

### ケーブルの取付けかた

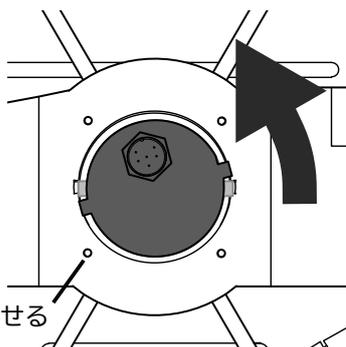
#### 1. ケーブルリールを入れる

ケーブルリールをフレームの脇からスライドさせます。



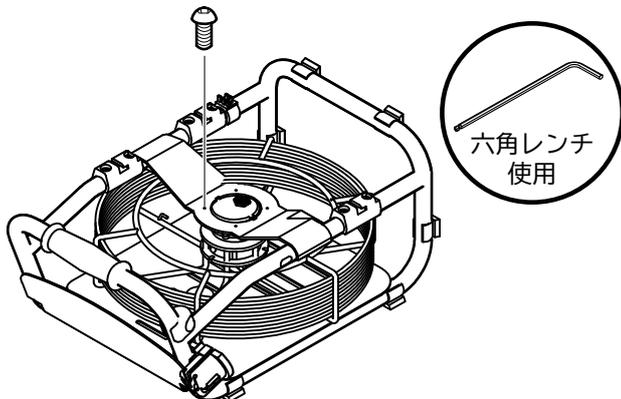
#### 2. ケーブルリールのツメをかける

ケーブルリールの軸をネジ穴が合うまで回して、ツメをかけます。



#### 3. ネジを取付ける

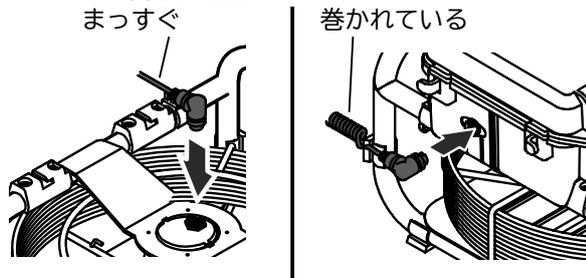
ネジを4か所取付けます。



#### 4. リンクケーブルを取付ける

リンクケーブルを取付けて金具をねじこみます。

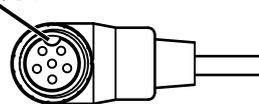
※ケーブルの向きに注意



### 注意

●コネクタの向きを確認すること  
コネクタの溝の位置を確認して差込んでください。  
入らないときは無理に差込まないでください。  
ピンが破損して故障するおそれがあります。

溝の位置を確認する



●コネクタはまっすぐ差込むこと  
斜めに差込むとピンが破損して故障するおそれがあります。

●コネクタのネジは完全に締めること  
ネジの締付けがゆるいと水が入り込んで故障するおそれがあります。

完全にねじこむ

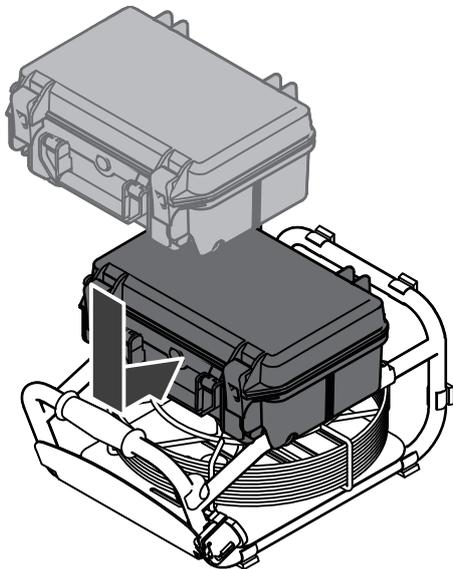


# 使用方法

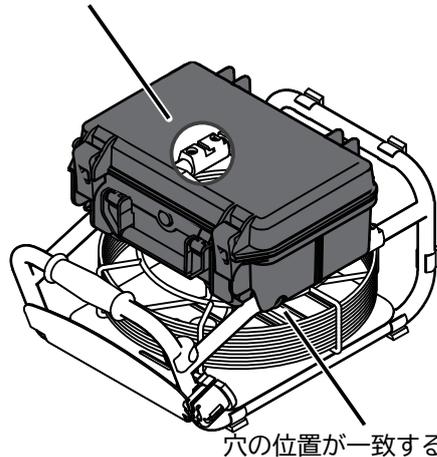
## ケーブルの取替えかた（続き）

### 5. 制御器を取付ける

制御器をフレームに乗せ、奥にスライドさせます。



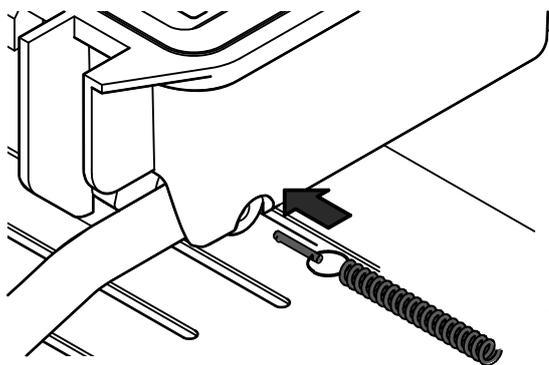
制御器がフレームの固定具の上に乗る



穴の位置が一致する

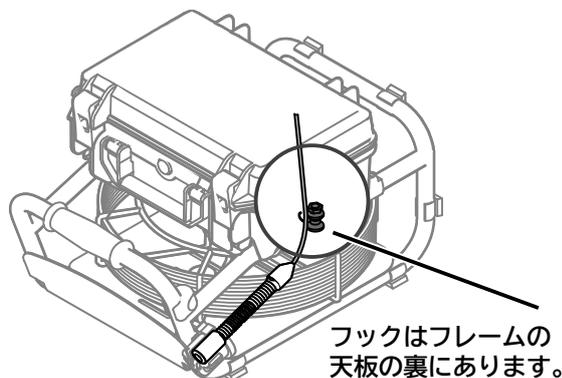
### 6. ボールロックピンを差込む

ボールロックピンを差込んで、制御器を固定します。



### 7. ケーブルをフックにかける

カメラヘッドをリールから取出し、ケーブルをフレーム上部にあるフックにかけます。



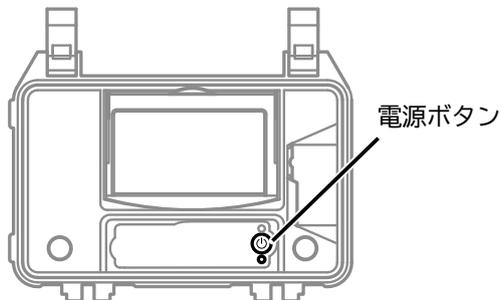
フックはフレームの天板の裏にあります。

# 使用方法

## 運びかた

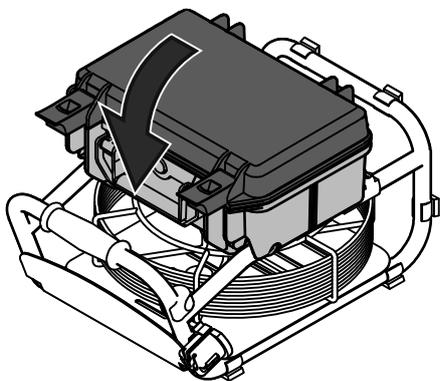
### 1. 本体の電源を切る

電源ボタンを押し、本体の電源を切ります。



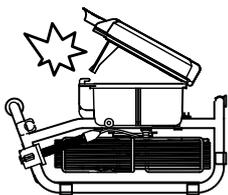
### 2. モニターを閉める

ヒサシを閉じてからモニターを閉めます。



### ⚠ 注意

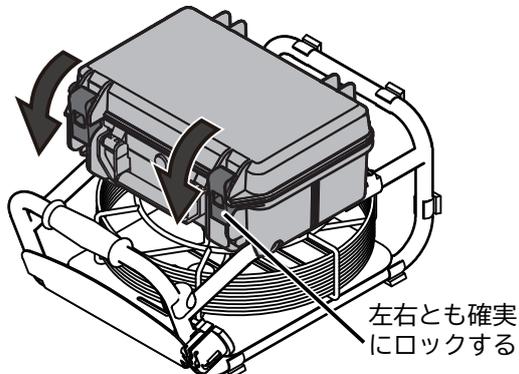
- ヒサシを閉じてからモニターを閉める  
ヒサシが制御器に衝突して、制御器が破損するおそれがあります。



- 物をはさみこんだ状態でモニターを閉めない  
制御器内に物をはさんだ状態でモニターを閉じるとモニターや制御器が破損するおそれがあります。

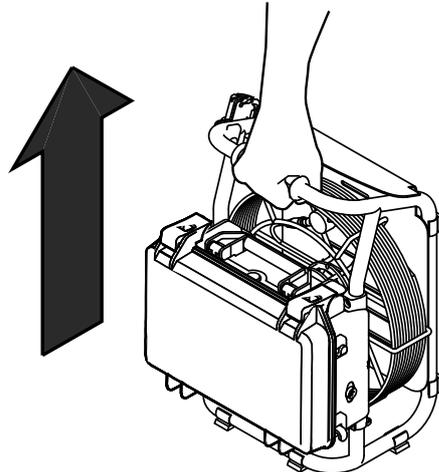
### 3. モニターをロックする

ツマミを下げ、強く押し込みます。



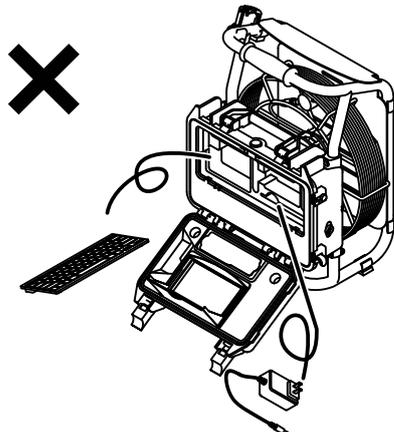
### 4. グリップを挿んで運ぶ

グリップを握って持ち運びます。



### ⚠ 注意

- モニターは確実にロックする  
ロックがかかっていない状態で本体を持ち上げるとフタが突然開いて部品類が飛び出るおそれがあります。ツマミを左右とも確実に閉めてから持ち運んでください。



# 使用方法

## リモコンの使いかた

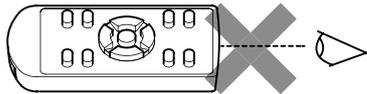
リモコンを使用することで本体から離れたところから撮影などの操作を行うことができます。

### 警告

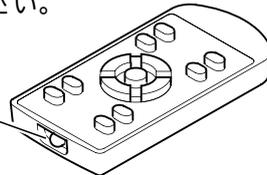


#### ●リモコンの赤外線照射部をのぞきこまない

リモコンからは赤外線が照射されます。目には見えませんが直接見ると視力に悪影響を及ぼすおそれがありますので、赤外線の照射部をのぞかないでください。また他の人にリモコンを向けないでください。



赤外線照射部



#### ●電池は正しい向きで入れる

電池の+側と-側は正しい向きで取付けてください。液漏れを起こすおそれがあります。

#### ●リモコンは濡らさない

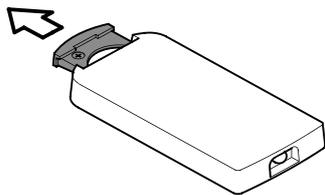
リモコンは防水設計ではないため、濡らさないでください。故障のおそれがあります。万が一濡れた場合には乾いた布で液体を拭き取り、十分に乾かしてからご使用ください。

## 電池交換のしかた

使用する電池の規格：リチウムイオン電池CR2025

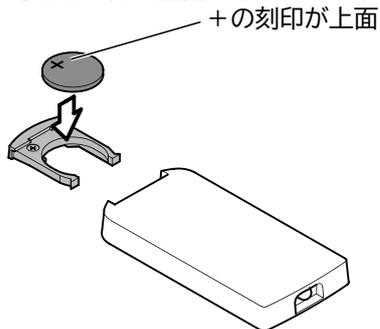
### 1. 電池トレイを取り出す

リモコンから電池トレイを抜き取ります。



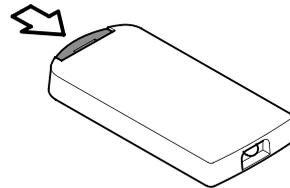
### 2. 電池を取付ける

電池トレイに電池を+側が上面に来るように取付けます。



### 3. 電池トレイを差し込む

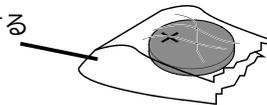
リモコンに電池トレイを差し込みます。



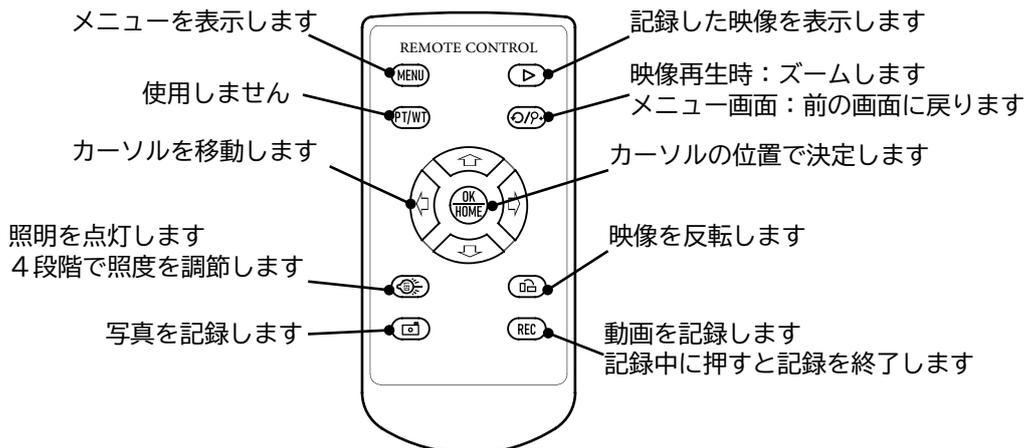
### 警告

●使用した電池は自治体の指示に従い廃棄する  
使用した電池はテープで絶縁し、自治体の指示に従って廃棄してください。炎の中に絶対投げ込まないでください。爆発や火災のおそれがあります。

テープで絶縁する



## 各ボタンの機能



# お手入れのしかた

## 本体の清掃のしかた

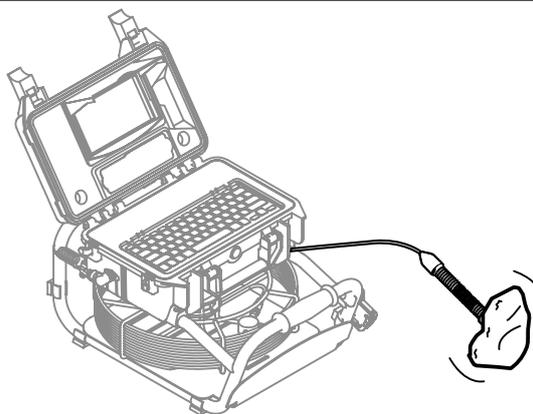
### 本体のお手入れ

- 乾いた布や柔らかいブラシで汚れを落としてください。
- がんだ汚れには、台所用中性洗剤を薄めてご使用ください。  
塩素系洗剤、有機溶剤は使用しないでください。プラスチックが劣化するおそれがあります。  
モニターにアルコールを付着させないでください。白濁するおそれがあります。
- たわしなどの硬いものでこすらないでください。



### カメラヘッドのお手入れ

- レンズはこまめに清掃してください。
- 乾いた布や柔らかいブラシで汚れを落としてください。
- がんだ汚れには、台所用中性洗剤を薄めてご使用ください。
- たわしなどの硬いものでこすらないでください。

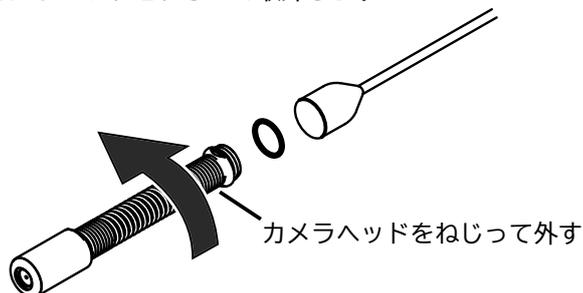


### 端子部のお手入れ

- 端子部のお手入れをする際には本体の電源を切ってください。
- 綿棒で汚れを落としてください。
- 台所用中性洗剤や塩素系洗剤、有機溶剤は使用しないでください。  
部品が劣化するおそれがあります。無水エタノールで拭き取ります。
- つまようじなどの硬いものでこすらないでください。
- お手入れした後は端子部を確実に取付けなおしてください。  
端子部の取付けが十分でない、内部に水が入り故障するおそれがあります。

#### 1. カメラヘッドを取外す

カメラヘッドをねじって取外します



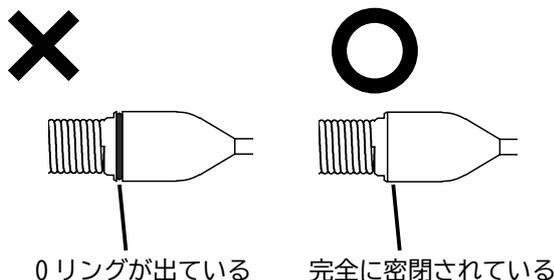
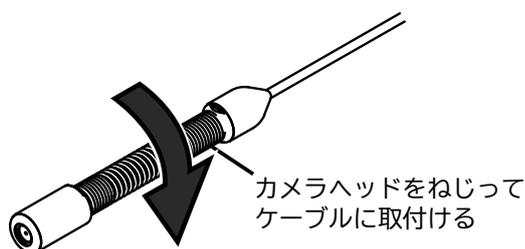
#### 2. 端子部を清掃する

端子部を無水エタノールをつけた綿棒で拭き取ります



#### 3. カメラヘッドを取付ける

カメラヘッドをねじってカメラケーブルに取付けます



お手入れのしかた

# お困りのとき

## 修理をご依頼される前に

●修理のまえに次の点をもう一度ご確認ください。

症状	確認するところ	直しかた	ページ
映像が表示されない	本体の電源は入っていますか	本体の電源を入れてください	8
	レンズは清掃されていますか	柔らかい布でレンズに付着した汚れを拭き取ってください	26
	カメラヘッドのライトが点灯していますか	カメラヘッドやリンクケーブルが正しく接続されているかご確認ください	22
	距離計が正しく表示されていますか ケーブルの出入れで表示が変わりますか	カメラヘッドやリンクケーブルが正しく接続されているかご確認ください	22
距離計が表示されない	距離計が「m/ft」と表示されていませんか	リンクケーブルや制御器の USB 受信機が正しく接続されているかご確認ください	22
距離計の単位が「m」でない	距離計が「〇〇 ft」と表示されていませんか	メニュー>モニタ設定>距離計「メートル」に設定してください	—
映像が暗い (映像は表示されている)	カメラレンズやライトは清掃されていますか	カメラヘッドやリンクケーブルが正しく接続されているかご確認ください	22
	カメラヘッドのライトの照度が低くありませんか	操作パネルの「LED」ボタンを繰り返し押し、ライトの照度を調整してください	13
	モニターの輝度が低く設定されていませんか	メニュー>モニタ設定>明るさ数字を選んで明るさを調節します	—
映像が記録されない	SD カードは差込まれていますか	SD カードを制御器に差込んでください	10
	SD カードは本体に認識されていますか	SD カードの容量が 64GB 以下ですか	10
	SD カードをフォーマットしましたか	本体でフォーマットを行ってください	10
日付が非表示にできない	「日付」は非表示にすることができません		—
字幕を入力できない	キーボードに電池が入っていますか 電池が切れていませんか	電池切れでない単 4 電池を 2 本、向きに注意して入れます	16
	キーボードの電源が入っていますか	電源スイッチ「ON」にして、キーボードのランプが点灯することを確認します	16
字幕を非表示にできない	—	キーボードの「Esc」キーを押します	17
電源が入らない	本体は充電されていますか	充電を行います	6
充電できない	充電ランプが点滅していませんか (プリチャージ機能が働いていませんか)	長期間使用していなかった場合は充電を開始しても直ちには電源が付きません	7
	充電ランプが点灯しませんか	接続しているプラグに電源が入っていますか	6

これらを試しても問題が解決されない場合は  
ご自身で修理なさらず「修理と保証」(p. 28)  
をよくお読みになり修理をご依頼ください。

# お困りのとき

## 修理と保証

### 修理を依頼されるときは

「お困りのとき」(p.27)に従いお手持ちの製品の状態を調べていただいても症状が改善されないときは、ご使用を中止して販売店までご連絡ください。

#### お伝えいただきたい内容

1. 製品名「バリュー・スコープ Pro(プロ)」
2. 不具合の内容(できる限り詳細に)

### 修理交換部品について

- SDカードの損傷によるデータの復旧は行えません。また破損したSDカードの交換もいたしかねます。
- 交換部品は製品の改良などのため、お買い上げいただいたものと仕様変更される場合があります。
- 修理のために取外した部品は、お申し出がなければ弊社で引き取り、廃棄いたします。

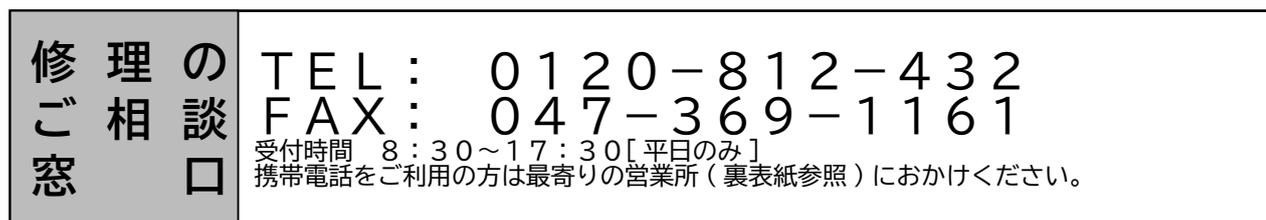
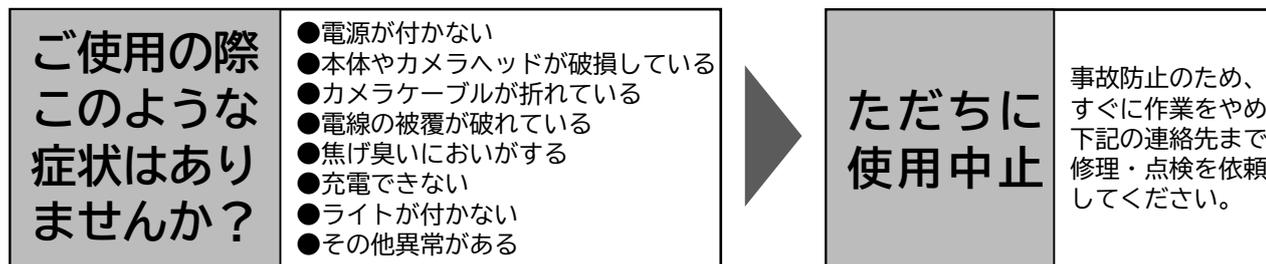
### 保証

**保証期間：お買い上げ日より1年間**  
修理の際にお買い上げ日を証明できる書類(納品書等)をご提示いただければ保証を適用いたします。

ただし以下に該当する場合は保証を適用いたしません。

- お買い上げ日がわかる証明書のご提示がない場合
- 保証期間を過ぎている場合(有償修理は可能です)
- カメラケーブルの切れなど、通常の使用による部品の損耗
- 本書の指示に従わなかったことによる損害
- 目的(排水管内の調査)以外の使用による損害
- 弊社修理員以外による修理を行った場合
- 改造を行っていた場合
- 災害等の不可抗力に起因する損害

### 修理の流れ



お困りのとき

# お困りのとき

## 製品仕様

### 外形寸法・質量

外形寸法	幅43.5mm×高さ34.5mm×奥行き55.0mm
質量	11.5kg~13.0kg（取付け部品による）

### 動作環境

使用可能温度	-10~50℃（充電は-5℃~48℃）
許容相対湿度	30%RH~90%RH

### バッテリー性能

入力電圧	単相交流100V（50Hz・60Hz）、直流12V
充電時間 バッテリー持続時間	約8時間 約6時間（使用状況による）
バッテリー容量	7.4V 5200mAhリチウムイオン電池

### カメラ性能

カメラヘッド径	14mmヘッド	23mmヘッド	38mmヘッド
映像素子	1/4インチCMOS	1/3インチCMOS	1/3インチCCD
焦点距離	60mm~80mm	200mm	200mm
被写界深度	200mm	1000mm	1000mm
画角	90°	120°	125°
防水性能	10m	20m	20m

### 制御器性能

モニタ解像度	1024px×600px
動画解像度	CVBS D1（設定を変えても解像度は変更できません）
エンコーダ （ビデオ圧縮設定）	高圧縮/H. 264
距離計 （カッコン内は精度）	0m~30m（±10cm+0.5%）
記録メディア	SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード（最大64GB）
マイク	モノラルチャンネル（無効化可能）

# お困りのとき

## 免責事項および用途制限

### 免責事項

- 地震、火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意、過失、誤用および仕様表で想定した条件を逸した環境下での使用によって生じた損害に関して弊社は一切の責任を負いません。
- 本製品やSDカードに記録されたデータが消失、破損したことによって生じた損害については弊社は一切の責任を負いません。またデータの復旧は弊社が行いません。
- 本製品の使用または故障によって生じた損害（事業利益の損失、事業の中断を含む）、事故（人身事故、火災、環境汚染など）に関して弊社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことで発生したいかなる損害に対しても、弊社は一切の責任を負いません。
- 製品に関する弊社の費用負担は、いかなる場合においても本製品のメーカー希望小売価格以内とします。
- 製品の取扱説明書に記載のない項目については、保証対象外とします。

### 用途制限

- 次に示すような条件や環境で使用する場合は安全対策へのご配慮を頂くとともに弊社にご連絡くださるようお願いいたします。
  1. 取扱説明書に明記されている条件以外での使用
  2. 人や財産に大きな影響が予想され、特に安全が要求される用途での使用なお本製品による人的、物的な損害の責任を弊社は一切負いかねます。
- 本製品は排水管内の調査を使用目的としています。これと異なる目的に使用する場合は、お客様が必要に応じてテストを行い十分に確認してから使用してください。
- 本製品を人の生命に直接関わる装置等（※1）を含むシステムに使用しないでください。
  - ※1：人の生命に直接関わる装置等とは、次のものを指します。
    - ・生命維持装置や手術用機器などの医療用機器
    - ・有毒ガスなどの気体の排出装置および排煙装置
    - ・消防法、建築基準法などの各種法令を根拠に設置することが義務付けられている装置
- 本製品を人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置等を含むシステム（※2）に使用される場合は、システムに影響を及ぼさない措置を講じ、使用上の注意の遵守徹底をお願いします。これらを怠って発生した人身事故、火災事故、社会的な制裁を含む損害については弊社はいかなる責任も負いかねます。
- ※2：公共交通機関、発電所、通信施設、病院など

**事業所一覧**

ホームページ：<https://kantool.co.jp/>  
メールアドレス：[info-kantool@kantool.co.jp](mailto:info-kantool@kantool.co.jp)  
カンツールショップ：<https://www.kantool-shop.jp/shop/>

フリーコール 0120-812-432

**●北海道営業所**

〒004-0031  
北海道札幌市厚別区上野幌一条4-1-3  
TEL：011-801-8881  
FAX：011-896-8885

**●東京営業所**

〒271-0065  
千葉県松戸市南花島向町315-5  
TEL：047-308-3633  
FAX：047-308-3634

**●東京営業所 仙台オフィス**

〒984-0831  
宮城県仙台市若林区沖野6-26-26  
七ツ星ハイツ106号室  
TEL：022-290-5262  
FAX：022-290-5263

**●名古屋営業所**

〒452-0822  
愛知県名古屋市西区中小田井2-486  
TEL：052-504-2321  
FAX：052-504-3614

**●大阪営業所**

〒536-0007  
大阪府大阪市城東区成育1-6-26  
TEL：06-7711-3470  
FAX：06-7711-3474

**●九州営業所**

〒812-0151  
福岡県福岡市城南区堤1-32-20  
オフィスパレア堤I・3号室  
TEL：092-407-2433  
FAX：092-407-2434

**●松戸テクニカルセンター**

〒271-0065  
千葉県松戸市南花島向町315-5  
TEL：047-308-2271  
FAX：047-369-1161

**●本社**

〒103-0001  
東京都中央区日本橋小伝馬町1-3  
ヨシヤ日本橋ビル8階  
TEL：03-5962-3240  
FAX：03-5962-3241

2023年4月現在